

**2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた
案内用図記号（ピクトグラム）作成事業
成果報告書**

平成 28 年（2016 年）3 月

はじめに

この報告書は、日本財団の平成 27 年度助成事業として実施した「オリンピック、パラリンピック開催に向けた案内用図記号（ピクトグラム）の作成」事業の成果をまとめたものです。

本事業が対象とする「案内用図記号（ピクトグラム）」とは、不特定多数の人々が利用する公共交通機関や公共施設、観光施設等において、文字・言語によらず対象物、概念または状態に関する情報を提供する図形であり、文字情報と比較して、誰もがひと目でその表現内容を理解でき、遠方からの視認性にも優れているといわれています。また、言語の知識を要しないといった利点があり、視力の低下した高齢者や障害のある方、日本語のわからない外国人観光客等にも理解できる有効な情報提供手法として、日本を含め世界中の公共交通機関、観光施設等で広く掲示されています。

当財団では 2002 年日韓ワールドカップ開催を控えた平成 11 年度から 12 年度にかけて、日本財団からの補助事業として 125 個の図記号を 8 つのカテゴリーに体系化した「標準案内用図記号ガイドライン」を作成し、そのうち 110 個が JISZ8210 として制定されるに至っています。

本事業では 2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、前記ガイドライン作成後の社会情勢の変化等を踏まえて再整理することとし、国内の公共交通機関や公共施設、障害者団体等関係者へのアンケート調査、ヒアリング調査を実施し、調査結果から新たに作成や見直しが必要だと考えられる図記号項目を絞り込み、それらの図案の作成を行った上で、理解度や視認性の試験を経て、新たな図記号案を作成するに至りました。

調査及び作成にあたっては、委員会委員長の秋山哲男中央大学研究開発機構教授を始め、同委員会 WG 主査の児山啓一 ISO/TC145/SC1 国内対策委員会主査、委員会委員各位、関係機関、交通事業者、ヒアリングにご協力いただいた障害者団体の皆様に、多大なるご協力とご助言を賜りました。ここに、改めて感謝の意を表する次第です。

平成 28 年 3 月

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
理事長 本田 隆 文

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた
案内用図記号（ピクトグラム）作成事業 成果報告書
目次

第1章 事業概要

1.1 事業目的	4
1.2 計画の概要	4
1.3 スケジュール	6
1.4 標準化について	6

第2章 調査研究の経緯

2.1 事例収集（アンケート調査、ヒアリング調査）	7
2.2 提案図記号の絞り込み	10
2.3 検討課題	18
2.4 提案図記号案の作成	23
2.5 理解度・視認性試験	45
2.6 提案図記号一覧	52

第3章 今後の調査研究計画

3.1 平成27年度のフォローアップ	53
3.2 平成28年度の作業内訳	53

参考資料

参考1 標準案内用図記号ガイドライン	56
参考2 アンケート調査票・ヒアリング議事録	64
参考3 事例収集結果一覧	74
参考4 理解度・視認性試験回答一覧	153
参考5 会議開催記録	
第1回 委員会	192
第1回 ワーキング	197
第2回 委員会	200
第2回 ワーキング	205
第3回 委員会	210

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた案内用図記号(ピクトグラム)

作成検討委員会 構成(平成28年3月現在 委員五十音順、敬称略)

委員長	秋山 哲男	中央大学研究開発機構 教授
委員	赤瀬 達三	黎デザイン総合計画研究所 代表取締役
	阿久井 薫	東京地下鉄株式会社鉄道本部営業部 サインシステム担当課長
	阿部 亮	東日本旅客鉄道株式会社鉄道事業本部設備部 次長
	板倉 広泰	東京都産業労働局観光部 事業調整担当課長
	江口 靖二	一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム 常務理事
	江本 秀司	一般財団法人日本規格協会規格開発ユニット規格開発グループ 産業基盤規格チーム 専門職
	加藤 久明	日本デザイン学会 名誉会員
	高妻 博之	国土交通省観光庁外客受入担当参事官付
	児山 啓一	ISO/TC145/SC1国内対策委員会 主査 (株)アイ・デザイン 代表取締役
	定村 俊満	公益社団法人日本サインデザイン協会 会長 株式会社ソーシャルデザインネットワークス 代表
	下出 享克	東京都オリンピック・パラリンピック準備局総合調整部 事業推進担当 課長
	下田 利幸	東京都都市整備局都市基盤部 物流調査担当課長
	高柴 和積	一般社団法人全国空港ビル協会 理事
	高橋 儀平	東洋大学ライフデザイン学部 教授
	谷口 善秀	独立行政法人日本政府観光局インバウンド戦略部 次長(国内受入対策 担当)
	辻村 由佳	一般財団法人国際観光サービスセンター 成田国際空港ツーリストイン フォメーションセンター所長
	津田 吉信	一般社団法人日本旅客船協会 企画部長
	永田 邦博	経済産業省産業技術環境局国際標準課 課長補佐
	中野 豊	一般社団法人日本標識工業会事務局長 ISO/TC145/SC2国内対策委員会 主査
	中村 祐二	ISO/TC145国内対策委員会 委員長 ISO/TC145/SC3国内対策委員会 主査
	平沢 善幸	国土交通省総合政策局安心生活政策課 交通バリアフリー政策室長
	船戸 裕司	公益社団法人日本バス協会 常務理事
	室谷 正裕	一般社団法人日本民営鉄道協会 常務理事
	森川 美和	公益財団法人共用品推進機構総務部 総務課長

前委員

第2回委員会まで	金子 喜一	前国土交通省総合政策局安心生活政策課 交通バリアフリー政策室長
第1回委員会まで	本田 昭則	一般社団法人日本旅客船協会 業務部長

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた案内用図記号(ピクトグラム)
作成検討 ワーキング (平成28年3月現在 委員五十音順、敬称略)

主査	児山 啓一	ISO/TC145/SC1国内対策委員会 主査 (株)アイ・デザイン 代表取締役
委員	赤瀬 達三	黎デザイン総合計画研究所 代表取締役
	秋山 哲男	中央大学研究開発機構 教授
	江口 靖二	一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム 常務理事
	江本 秀司	一般財団法人日本規格協会規格開発ユニット規格開発グループ 産業基盤規格チーム 専門職
	定村 俊満	公益社団法人日本サインデザイン協会 会長 株式会社ソーシャルデザインネットワークス 代表
	高橋 儀平	東洋大学ライフデザイン学部 教授
	永田 邦博	経済産業省産業技術環境局国際標準課 課長補佐
	中野 豊	一般社団法人日本標識工業会事務局長 ISO/TC145/SC2国内対策委員会 主査
	中村 祐二	ISO/TC145国内対策委員会 委員長 ISO/TC145/SC3国内対策委員会 主査

オブザーバー

荒木 祐二	一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 大会準備運営局大会計画部運営準備課 サイネージ担当課長
遠藤 純二郎	一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 マーケティング局管理部ブランド管理課 ブランドディレクター
中村 孝之	国土交通省国土地理院基本図情報部 国土基盤情報調整官

事務局

堀口 仁美	株式会社アイ・デザイン チーフデザイナー
坂下 晃	公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団理事兼バリアフリー推進部長
竹島 恵子	公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団バリアフリー推進部 企画調査課担当課長

第1章

第1章 事業概要

1.1 事業目的

本事業のテーマである案内用図記号（ピクトグラム）とは、「対象物、概念または状態に関する情報を、文字や言語によらず、対象物、概念または状態に関する情報を見てわかる方法で伝えるための図形」で、具体的には方向を表す矢印や男女を表す人の形、電話を表す図形等を示し、不特定多数の人々が利用する公共交通機関や公共施設、観光施設等の公共の場に広く利用されるものである。

文字情報と比較して、誰もがひと目でその表現内容を理解でき、遠方からの視認性にも優れている。また、言語の知識を要しないといった利点があり、視力の低下した高齢者や障害のある方、日本語のわからない外国人観光客等にも理解できる有効な情報提供手法として、日本を含め世界中の公共交通機関、観光施設等で広く使用されている。

その様な背景から、日本では2002年日韓ワールドカップ開催を控えた1999～2000年にかけて、日本財団からの補助事業として125個の図記号を8つのカテゴリーに体系化した「標準案内用図記号ガイドライン」を作成するに至った。その後、2011年度自主事業として図記号の再調査を行った所、見直しや新規作成の必要性がある図記号があることがわかった。

一方、ビジット・ジャパン・キャンペーン等により、訪日外国人数は東日本大震災後落ち込んだものの2014年には1,341万を超え、観光庁は更なる目標値として3000万人を掲げキャンペーンを展開しているところである。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まったが、2012年オリンピック・パラリンピックを開催したロンドンは、開催決定した2005年以降観光客数が増加し現在3100万人を超えており、東京への観光客数が今後益々増加していくことが予想されるので、図記号の必要性が高まると思われる。しかし、様々な機関等で実施されている調査結果で訪れたい国として高評価を得てはいるが、コミュニケーション部分での課題（特に言語やサイン環境のわかりにくさ）が指摘されている。

そこで、本事業では、国内の交通事業者や公共機関、また障害のある方にとって図記号の新規作成や見直しが必要だと考えている図記号項目についての事例を収集した上で、検討すべき図記号項目を絞り込み、それらの図記号案を検討、作成することにより、先の「標準案内用図記号ガイドライン」の再整理を目的とすることとした。

更に、再整理したガイドラインを作成することにより、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、よりわかりやすいサイン環境の推進を促し、この再整理したガイドラインを経済産業省へ報告することにより、本事業後に国内標準化（JIS化）及び国際標準化（IS化）への働きかけを進める。

1.2 計画の概要

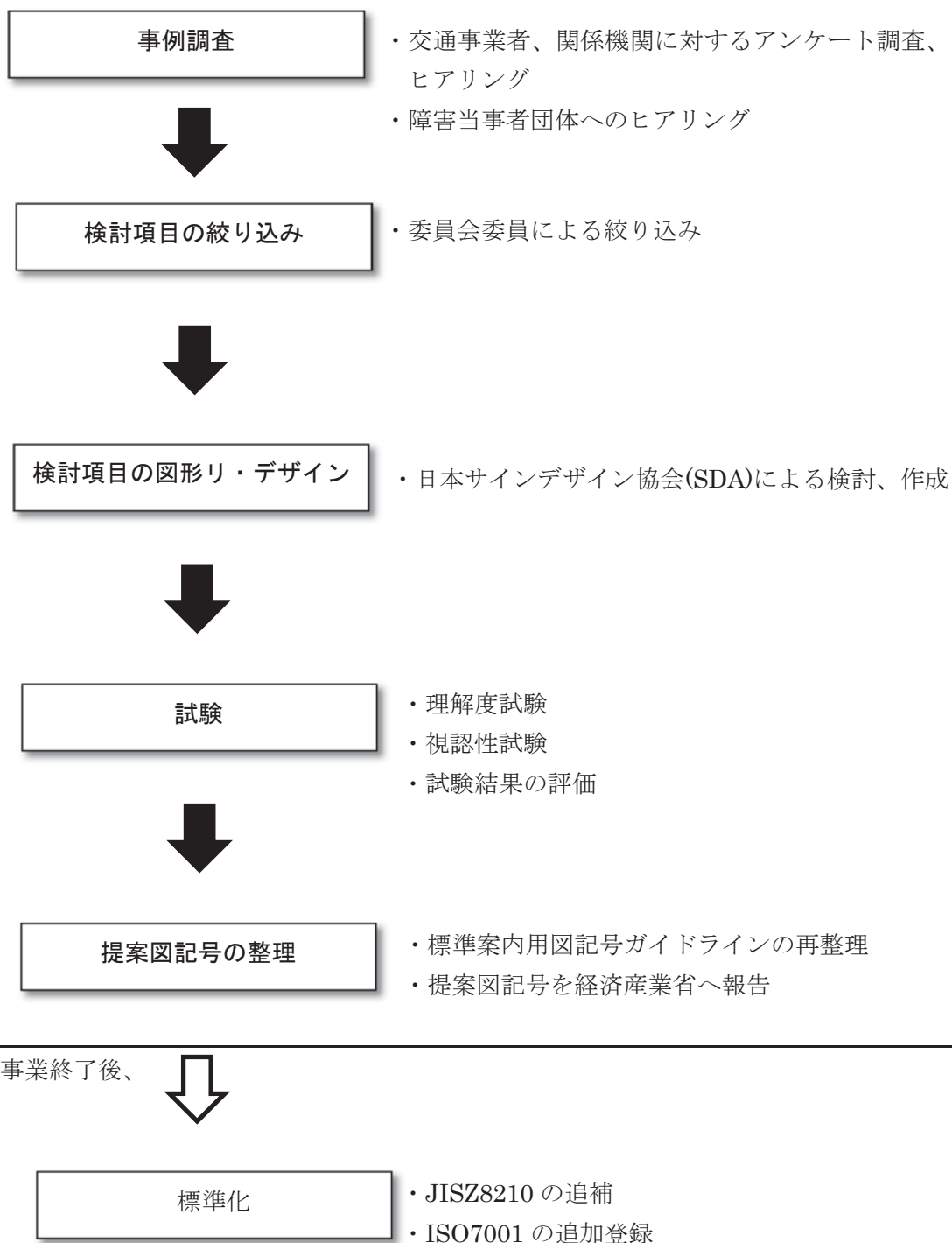
「2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた案内用図記号（ピクトグラム）作成検討委員会」を設置し、検討を進めることとなった。

本事業では、まず国内における事例及び要望を集めることから始めた。次に、それらを整理した上で、検討すべき図記号項目の絞り込みを行い、統一感のある図記号とするためにリ・デザイン（再度デザインを行うこと）作業を進めた。続いて、作成した図案のわか

第1章

りやすさを確認する理解度試験と、見やすさを確認する視認性試験を行った上で提案図記号案として、「標準案内用図記号ガイドライン」を再整理し、経済産業省へ提案する予定である。

○事業の流れ



第1章

1.3 スケジュール

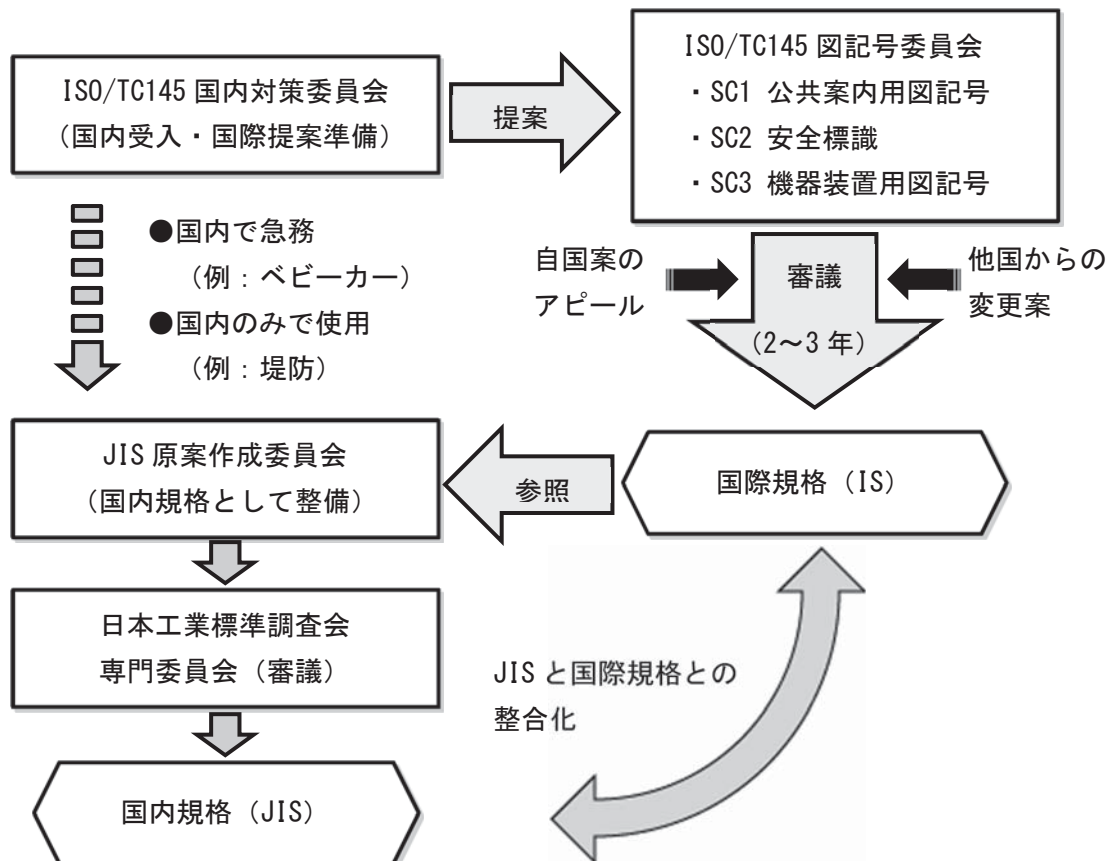
平成 27 年度で候補図形の絞り込み、作成までを予定していたが、候補とする項目が多かったことと、検討に時間を要する項目が含まれていたため、平成 28 年度も引き続き検討を進め、結果について経済産業省へ報告することとする。

	平成 27 年度				平成 28 年度			
	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4
事例収集	—	—						
検討項目の絞り込み			—					
図形リ・デザイン				—		-----		
試験				—			---	
とりまとめ				—				-----
検討項目の再整理					-----			
委員会の開催	●		●	●	○			○
ワーキング開催			●	●		○		

※平成 28 年度は予定

1.4 標準化について

事業終了後、本事業結果は経済産業省へ報告し、その後標準化に向けて検討が進められるが、参考までにその流れは以下の通りである



第2章

第2章 調査研究の経緯

2.1 事例収集（アンケート調査、ヒアリング調査）

国内18の関係省庁、団体、協会、企業などから約300種類、のべ約1300件のデータを収集した。

2.1.1 アンケート調査先

当該委員会の委員及びオブザーバーに依頼して、所属する団体、組織に事例調査を依頼した。

分野	団体、組織	備考
○交通事業者		
鉄道、地下鉄	1. 一社) 日本民営鉄道協会	委員
	2. 東日本旅客鉄道株式会社	委員
	3. 東京地下鉄株式会社	委員
バス	4. 公社) 日本バス協会	委員
空港	5. 一社) 全国空港ビル協会	委員
旅客船	6. 一社) 日本旅客船協会	委員
タクシー	7. 一社) 全国ハイヤー・タクシー連合会	
○観光関連団体	8. 一財) 国際観光サービスセンター	委員
	9. 独) 日本政府観光局	委員
○官公庁	10. 国土交通省総合政策局	委員
	11. 国土交通省観光庁	委員
	12. 東京都産業労働局観光部	委員
	13. 東京都都市整備局	委員
○オリパラ関連	14. 東京都オリンピック・パラリンピック準備局	委員
	15. 公財) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会	オブザーバー
○案内図、サイン関連	16. 国土交通省国土地理院	オブザーバー
	17. 公社) 日本サインデザイン協会	委員
	18. 一社) デジタルサイネージコンソーシアム	委員

※アンケート調査票：参考資料 参考2

2.1.2 ヒアリング調査先

次表の観光関連団体、障害当事者団体を訪問してヒアリングを行った。日本政府観光局は、JNTO ツーリスト・インフォメーション・センター (TIC) を訪問して、期間中に TIC を訪れた外国人の方に、図記号に関するアンケート実施にご協力いただくことを依頼した。

第2章

分野	団体、組織	備考
○観光関連団体	公益社団法人日本観光振興協会	ヒアリング
	独) 日本政府観光局 TIC (ツーリスト・インフォメーション・センター)	アンケート
○障害当事者団体	社会福祉法人東京都知的障害者育成会	ヒアリング
	一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会	ヒアリング
	公益社団法人全国脊髄損傷者連合会	ヒアリング
	一般財団法人全日本ろうあ連盟	ヒアリング
	日本障害者協会	ヒアリング
○事務局自主調査	外国人インタビュー	インタビュー

2.1.3 ヒアリングまとめ

ヒアリング結果より図記号収集に関する意見を集約し、必要なものを検討項目として追加した。

提案者	ご意見	事務局対応
東京都知的障害者育成会	知的障害者は基本的にシンボル（抽象概念）に弱い。（銀行、キャッシュサービスなど）シンボル化されているものはわかりにくい。	コミュニケーション支援用絵記号等に対応
	都の「ヘルプマーク」はわかりやすい。	サービスマークとして扱うので対象としない
	きっぷうりば：図材が小さい。	検討項目に追加
	ホテルのベッド：病院に見える。	参考意見として記録
	郵便：メールと間違える。	検討項目に追加
	野球等のスポーツ：ボールの図材が欲しい。	参考意見として記録
	介護スペース図記号が欲しい。	検討項目に追加
全日本難聴者・中途失聴者団体連合会	コミュニケーション（筆談、手話、読話）を示す図記号が欲しい。	検討項目に追加
	様々な支援を得られる場所を示す図記号が欲しい。	検討項目に追加
全国脊椎損傷者連合会	車いす利用者専用の駐車場を示す図記号が欲しい。	既にあり
全日本ろうあ連盟	耳が聞こえません を示す図記号が欲しい。	ISO7001 にあり (国内団体不統一)

第2章

	コミュニケーション（筆談、手話、読話）を示す図記号が欲しい。	検討項目に追加
	様々な支援を得られる場所を示す図記号が欲しい。	検討項目に追加
	遠隔手話サービスを示す図記号が欲しい。	検討項目に追加
日本障害者協会	障害者用のヘルプカウンターを示す図記号が欲しい。	検討項目に追加

2.1.4 JNTO 外国人アンケートまとめ

アンケート結果より図記号収集に関する意見を集約し、必要なものを検討項目として追加した。

提案者	ご意見	事務局対応
フランス	お薦めの撮影スポットを示す図記号が欲しい。	検討項目に追加
	英語やその他の言語を話すことを示す図記号が欲しい。	JIS 化予定
オーストラリア	現金自動預払機（ATM）用の標識が必要。	検討項目に追加
	列車と地下鉄のシンボルは、もっと分かりやすくできるのでは。	検討項目に追加
	旅行者向けのインフォメーションを示す場所が必要。	検討項目に追加
イタリア	地下鉄に、M という図記号が欲しい。	検討項目に追加

2.1.5 浅草外国人インタビューまとめ

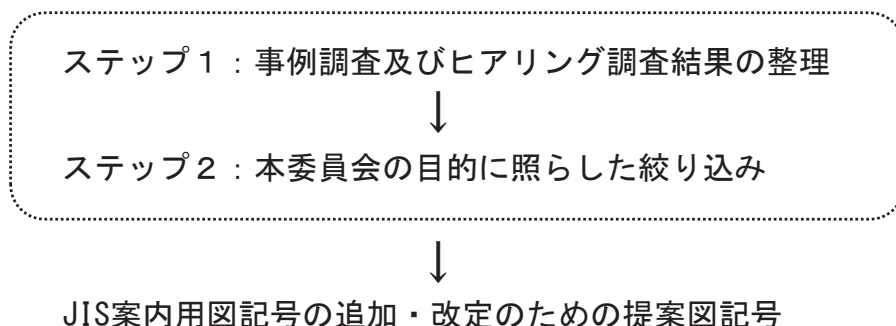
浅草で外国人インタビューを行った結果から必要なものを検討項目として追加した。

提案者	ご意見	事務局対応
マレーシア	赤ちゃんのマークがわかりにくい。	検討項目に追加
アメリカ	忘れもの図記号の意味がわからない。	検討項目に追加
台湾	チェックイン図記号がわからない。	検討項目に追加
	ミーティングポイントが理解できない。	検討項目に追加
カナダ	入口のポイントを示す図記号が欲しい。	検討項目に追加

第 2 章

2.2 提案図記号の絞り込み

事例調査及びヒアリング調査で得られた図記号の項目の結果を基に、本委員会、WG 審議での委員意見を踏まえ、以下の手順（ステップ）を事務局で整理した。



2.2.1 ステップ1：事例調査及びヒアリング調査結果の整理について

①整理方法

調査で得られた図記号の項目を、調査時の3つの質問（A、B、C）ごとに整理し、JIS Z 8210 の8つのカテゴリー（①～⑧）に「⑨アクセシブル」と「⑩お手洗関連」を加えた計10のカテゴリーで分類した。なお、専門的立場の指摘であるエコモ財団調査、日本サインデザイン協会調査及び委員の指摘については、その旨を備考として記した。

調査時の3つの質問	内容
(A) JIS に新規追加が必要	JIS ^(※1) に新規追加が必要と思う図記号
(B) JIS 既存の改定が必要	JIS ^(※1) の既存改定が必要と思う図記号
(C) ISO の JIS 化が必要	ISO ^(※2) のうち、JIS ^(※1) に追加が必要と思う図記号

(※1) JIS Z 8210 案内用図記号、(※2) ISO 7001 Public Information symbols

②調査内訳

- ・本委員会の委員及びオブザーバーが関係する国内18の関係省庁、団体、協会、企業に依頼した事例調査結果
- ・交通エコロジー・モビリティ財団の平成23年度「案内用図記号の今後のあり方を検討する基礎調査」の成果報告
- ・平成27年8月に交通エコロジー・モビリティ財団が日本サインデザイン協会(SDA)に依頼した「オリンピック、パラリンピック開催に向けた案内用図記号の作成基礎調査」の成果報告
- ・事務局が観光関連団体、障害当事者団体を訪問して行ったヒアリング及び外国人インタビュー結果（浅草での外国人インタビュー及びJNTO ツーリスト・インフォメーション・センター（TIC）で行った外国人を対象としたアンケート結果）

第2章

③調査で得られた図記号の項目数内訳（合計 308 項目）

カテゴリー	項目数	カテゴリー	項目数
①公共・一般施設	93	⑥禁止	33
②交通施設	51	⑦注意	13
③商業施設	21	⑧指示	24
④観光・文化・スポーツ施設	19	⑨アクセシブル	26
⑤安全	14	⑩お手洗関連	14

2.2.2 ステップ2：本委員会の目的に照らした絞り込みについて

①絞り込み方法

ステップ1で整理した図記号の項目に対して、WGを経て移動支援の観点から事務局で3つの視点（イ、ロ、ハ）を設定し、絞り込みをした。

3つの視点	内容
(イ) 外国人観光客の移動支援 ^(※1) に不可欠	オリンピック、パラリンピック開催に向けて増加が見込まれる外国人観光客が移動する上で、外国人観光客ならではの最低限必要と考えられる項目
(ロ) 移動制約者の移動支援 ^(※1) に不可欠	移動制約者が移動する上で、移動制約者ならではの最低限必要と考えられる項目 (移動制約者：様々な障害のある人、ベビーカー使用者、妊産婦、怪我をした人、大きな荷物を持った人等)
(ハ) 不特定多数の利用者の移動支援 ^(※1) に不可欠	現在、様々な団体・組織が独自のデザインを展開しているため、統一することで一般利用者に対して便利と考えられる項目

(※1)「移動支援」とは、様々な人が移動する上で起こりうる問題点、課題点を解消、もしくは排除するために必要と考えられる方法（混乱を解消、迷いを払拭、誤解を排除、事故を防止）とした。

②絞り込み後の図記号の項目数内訳（合計 42 項目）

カテゴリー	項目数	カテゴリー	項目数
①公共・一般施設	12	⑥禁止	3
②交通施設	5	⑦注意	0
③商業施設	4	⑧指示	1
④観光・文化・スポーツ施設	1	⑨アクセシブル	6
⑤安全	2	⑩お手洗関連	8

第2章

2.2.3 JIS案内用図記号の追加・改定のための提案図記号絞り込み

ステップ2で絞り込まれた42項目の図記号に対して、第2回委員会及び委員会終了後の追加意見を加えてメール審議を行い、今年度及び次年度に追加、改訂する提案図記号を絞り込んだ。

①審議参加者

委員25名のうち、回答者23名、及び事務局

②選択の根拠

- ①絞り込みの視点<（ロ）移動制約者の移動支援に不可欠>の項目で【審議に賛成】が【審議に反対】を上回るもの
- ②委員回答者23名の過半数12名以上が審議に賛成したもの
- ③事務局で必要と判断したもの（理由は各々に記載）

③審議経過

事例調査及びヒアリング調査で得られた図記号の項目	絞り込み3つの視点			備考	第2回委員会及びメール審議			
	(イ) 外国人観光客の移動支援に不可欠	(ロ) 移動制約者の移動支援に不可欠	(ハ) 不特定多数の利用者の移動支援に不可欠		審議に賛成	審議に反対	判定せず	絞り込み理由 ①移動制約者に必要 ②回答者過半数が賛成 ③事務局で必要と判断
①公共・一般施設（12項目）→ 12項目								
1 案内所			✓	JIS既存の改定が必要	17	4	2	②
2 情報コーナー			✓	JIS既存の改定が必要	17	4	2	②
3 観光案内所	✓			JISに新規追加が必要	16	4	2	②
4 乳幼児用設備		✓		JIS既存の改定が必要	12	6	4	①
5 授乳室		✓		JISに新規追加が必要	14	6	2	①
22 お薦め撮影スポット	✓			JISに新規追加が必要	0	19	4	
30 海外発行カード対応ATM	✓			JISに新規追加が必要	13	7	3	②
36 無線LAN	✓		✓	ISOのJIS化が必要	18	3	2	②
47 祈祷室	✓			JISに新規追加が必要	12	6	5	②
60 ミーティングポイント	✓			JIS既存の改定が必要	12	6	5	②
74 障害のある人が使える設備		✓		JIS既存の改定が必要	6	13	4	
80 エレベーター		✓		JIS既存の改定が必要	15	3	5	①
ステップ2の事務局案に対する追加ご意見の図記号項目（15.11.20締切の委員ご意見）								
25 充電コーナー			✓	JISに新規追加が必要	9	9	5	③外国人ニーズが高い
28 自転車の運行について			✓	JISに新規追加が必要	6	11	6	
33 携帯電話使用可			✓	JISに新規追加が必要	7	10	6	
34 電子機器使用可			✓	JISに新規追加が必要	5	12	6	
41 国際電話	✓			JISに新規追加が必要	6	11	6	
54 分別ごみ			✓	JISに新規追加が必要	6	12	5	
84 Pedestrian route			✓	JISに新規追加が必要	3	14	6	
追加 車椅子固縛位置		✓		JISに新規追加が必要	9	10	4	
追加 バリアフリー座席位置		✓		JISに新規追加が必要	6	13	4	
追加 キャリーバック、手荷物置き場	✓		✓	JISに新規追加が必要	5	12	6	
追加 自転車、特殊手荷物置き場			✓	JISに新規追加が必要	5	12	6	
追加 撮影可能	✓			JISに新規追加が必要	3	13	7	
新たに追加を希望される図記号項目（15.12.04締切の委員ご意見）								
再追加 自動販売機			✓	ISOのJIS化が必要	1	0	0	③東京都の要請
②交通施設（5項目）→ 6項目								
2 地下鉄	✓		✓	ISOのJIS化が必要	13	8	2	②
3 新幹線	✓		✓	JISに新規追加が必要	2	18	3	
17 駅事務室/駅長室/乗務員室/駅員・係員			✓	JISに新規追加が必要	17	2	4	②
31 レンタサイクル	✓			ISOのJIS化が必要	17	1	5	②
37 次とまります/バス停留所（乗車場、降車場）/バス停			✓	JISに新規追加が必要	16	2	4	②
ステップ2の事務局案に対する追加ご意見の図記号項目（15.11.20締切の委員ご意見）								
18 一般車/自家用車			✓	JISに新規追加が必要	10	7	5	③バス、タクシーと並列で必要
追加 船舶/フェリー/港	✓			JIS既存の改定が必要	14	4	4	②

第2章

	事例調査及びヒアリング調査で得られた図記号の項目	絞り込み3つの視点			備考	第2回委員会及びメール審議			絞り込み理由 ①移動制約者に必要 ②回答者過半数が賛成 ③事務局で必要と判断
		(イ) 外国人観光客の移動支援に不可欠	(ロ) 移動制約者の移動支援に不可欠	(ハ) 不特定多数の利用者の移動支援に不可欠		審議に賛成	審議に反対	判定せず	
③商業施設（4項目）→ 1項目									
3	ムスリム料理（ハラール料理）	✓			JISに新規追加が必要	7	12	4	
4	多言語メニュー	✓			JISに新規追加が必要	8	12	3	
6	使用食材表示	✓		✓	JISに新規追加が必要	8	11	4	
9	コンビニエンスストア			✓	JISに新規追加が必要	13	6	4	②
④観光・文化・スポーツ施設（1項目）→ 2項目									
14	ボランティアガイド	✓	✓		JISに新規追加が必要	8	10	4	③オリンピックに必要
ステップ2の事務局案に対する追加ご意見の図記号項目（15.11.20締切の委員ご意見）									
16	イヤホンガイド	✓			JISに新規追加が必要	10	6	5	③オリンピックに必要
新たに追加を希望される図記号項目（15.12.04締切の委員ご意見）									
再追加	Goodwill translator	✓			JISに新規追加が必要	1	0	0	
⑤安全（2項目）→ 2項目									
1	AED			✓	ISOのJIS化が必要	16	3	3	③オリンピックに必要
9	非常停止ボタン			✓	JISに新規追加が必要	14	5	3	②
新たに追加を希望される図記号項目（15.12.04締切の委員ご意見）									
再追加	ISO20712シリーズから必要な図記号を追加			✓	JISに新規追加が必要	1	0	0	
再追加	津波警告旗(事務局に以前提出した資料)			✓	JISに新規追加が必要	1	0	0	
⑥禁止（3項目）→ 4項目									
1	携帯電話使用禁止			✓	JIS既存の改定が必要	12	6	5	②
8	ホームドア／ホーム柵 禁止行為			✓	JISに新規追加が必要	8	11	4	③重点整備 2項目に分類 ・立てかけない ・乗り出さない
14	危険物	✓			JISに新規追加が必要	15	4	4	②
ステップ2の事務局案に対する追加ご意見の図記号項目（15.11.20締切の委員ご意見）									
2	携帯電話電源OFF			✓	JIS既存の改定が必要	6	11	5	
3	携帯電話通話禁止			✓	JIS既存の改定が必要	7	11	4	
4	スマートフォンおよび携帯端末（タブレット）の使用禁止			✓	JIS既存の改定が必要	6	12	4	
新たに追加を希望される図記号項目（15.12.04締切の委員ご意見）									
再追加	自撮棒禁止	✓			JISに新規追加が必要	1	0	0	
⑦注意（0項目）→ 0項目									
該当なし									
新たに追加を希望される図記号項目（15.12.04締切の委員ご意見）									
再追加	ISO20712シリーズから必要な図記号を追加			✓	JISに新規追加が必要	1	0	0	
再追加	津波警告旗(事務局に以前提出した資料)			✓	JISに新規追加が必要	1	0	0	
再追加	強風注意			✓	JISに新規追加が必要	1	0	0	
⑧指示（1項目）→ 1項目									
1	シートベルト（バス）	✓		✓	JISに新規追加が必要	16	3	4	②
⑨アクセシブル（6項目）→ 5項目									
1	オストメイト		✓		JISに新規追加が必要	13	4	5	①
2	コミュニケーション：筆談対応	✓	✓		JISに新規追加が必要	14	2	6	②
9	補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）同伴		✓		JISに新規追加が必要	14	2	6	①
14	Accessible Taxi		✓		JISに新規追加が必要	12	6	5	①
23	障害者用のヘルプカウンター		✓		JISに新規追加が必要	11	7	5	①
26	アテンドサイネージ			✓	JISに新規追加が必要	6	11	6	
⑩お手洗関連（8項目）→ 8項目									
1	和式	✓	✓	✓	JISに新規追加が必要	11	6	4	①②
2	洋式	✓	✓	✓	JISに新規追加が必要	13	4	4	①②
8	ベビーチェア		✓		JISに新規追加が必要	10	7	4	②
9	おむつ交換台		✓		JISに新規追加が必要	10	7	5	②
10	キッズトイレ／子供用／男子用小便器		✓		JISに新規追加が必要	7	11	4	③トイレ関連の一連
12	多機能トイレ／ファミリートイレ		✓		JISに新規追加が必要	13	5	4	②
13	多目的シート／介護用ベッド		✓		JISに新規追加が必要	11	7	4	①
14	フィッティングボード／着替え台	✓		✓	JISに新規追加が必要	7	11	4	③トイレ関連の一連

第2章

2.2.4 27年度検討、28年度以降検討の分類

絞り込み図記号に対して27年度及び28年度検討項目に分類した。

- ・27年度は特に審議を必要としないものを優先する。
- ・日本提案がISOで承認されたものは27年度に含む。審議中は28年度以降とする。
- ・更なる議論が必要な項目は28年度以降に検討する。
- ・他の団体規格等との調整が必要なものは28年度以降に検討する。

○選択図記号一覧（27年度：15項目、28年度：26項目 計41項目）

年度	①公共・一般施設（27年度：7項目、28年度：5項目 計12項目） （絞り込み視点イロハ 賛成/反対/判定なし）		
28	1-1 案内所 (ハ 17/4/2)	選択理由	②
		現状	JIS (?) と ISO (i) で異なる。
		デザイン方針案	人的援助が得られる場所として、「9-23 障害者用のヘルプカウンター」を包括する表現(例えば?に、カウンターの人物の図材を追加)に変更することを検討する。表示事項(名称)は変更する。「アシスタンスカウンター」「ヘルプカウンター」「サポートカウンター」等。「(既存)コミュニケーション:多言語対応」、「9-2 コミュニケーション:筆談対応」と関連を図る。
28	1-2 情報コーナー (ハ 17/4/2)	選択理由	②
		現状	JIS 既存
		デザイン方針案	表示事項を「情報コーナー」から「インフォメーション」に変更する。図材は現状(i)のまま。
28	1-3 観光案内所 (イ 16/4/2)	選択理由	②
		現状	観光庁「サービスマーク」として制定。
		デザイン方針	図記号に含むか「サービスマーク」のままとするか検討する。
27	1-4 乳幼児用設備 (ロ 12/6/4)	選択理由	①
		現状	JIS/ISO 既存
		デザイン方針	変更なし。授乳とおむつ交換の双方を含む上位概念として定義する。
27	1-5 授乳室 (ロ 14/6/2)	選択理由	①
		現状	規格なし
		デザイン方針	授乳専用設備を表現する。(既存例:ほ乳瓶)
28	1-25 充電コーナー (ハ 9/9/5)	選択理由	③公共施設で外国人観光客のニーズが高く、車いすの充電施設にも使える。
		現状	規格なし
		デザイン方針	自由に使える電源があることを示す。
28	1-26 自動販売機 (ハ 1/0/0)	選択理由	③東京都(オリパラ関係)からの要望
		現状	ISO 審議中
		デザイン方針	ISO、過去のISO日本提案図記号等を材料として最適な表現を検討する。

第2章

27	1-30	海外発行カード 対応 ATM (イ 13/7/3)	選択理由	②
			現状	JIS ATM はあり。
			デザイン方針	JIS ATM に「国際」の表現を追加する。ただし、すべて国際対応になった場合の対応も検討する。
27	1-36	無線 LAN (イハ 18/3/2)	選択理由	②
			現状	日本提案が ISO として登録された。
			デザイン方針	ISO 登録図記号をそのまま JIS 化する。
27	1-47	祈祷室 (イ 12/6/5)	選択理由	②
			現状	規格なし
			デザイン方針	一つの宗教イメージに偏らない汎用性のあるデザイン（ネイティブの意見を聞くなど慎重に）
27	1-60	ミーティングポイント (イ 12/6/5)	選択理由	②
			現状	JIS 図記号が ISO 登録される予定。
			デザイン方針	検討項目となったが現状のまま。
27	1-80	エレベーター (ロ 15/3/5)	選択理由	①
			現状	JIS 既存
			デザイン方針	JIS 既存の矢印変更、及び視認性の改善。

年度 ②交通施設（27 年度：5 項目、28 年度：1 項目 計 6 項目）
（絞り込み視点イロハ 賛成/反対/判定なし）

27	2-2	地下鉄 (イ 13/8/2)	選択理由	②
			現状	JIS 既存の「鉄道/鉄道駅」を利用または適宜変形。
			デザイン方針	JIS 既存の「鉄道/鉄道駅」に、トンネルの要素を追加する。 M や U 等の省略言語には依存しない。
27	2-17	駅事務室/駅長室 /乗務員室/駅員・係員 (ハ 17/2/4)	選択理由	②
			現状	規格なし
			デザイン方針	JIS 「警察」と誤認しないデザインとする。
27	2-18	一般車/自家用車 (ハ 10/7/5)	選択理由	③バス、タクシー等と同列で使用されることが多い。
			現状	規格なし
			デザイン方針	JIS 既存のタクシーの上部表示を削除する。
28	2-31	レンタサイクル (イ 17/1/5)	選択理由	②
			現状	日本提案が ISO 登録される予定。
			デザイン方針	ISO 制定後、JIS 化する。
27	2-37	バス停 (ハ 16/2/4)	選択理由	②
			現状	ISO 審議中
			デザイン方針	一般のバス停とし、バスターミナルや長距離バスの発着所などは除く。
27	2-51	船舶/フェリー/ 港 (イ 14/4/4)	選択理由	②
			現状	JIS と ISO が異なる。
			デザイン方針	JIS と ISO を比較検討する。

第2章

年度 ③商業施設 (27年度：0項目、28年度：1項目 計1項目) (絞り込み視点イロハ 賛成/反対/判定なし)			
28	3-9 コンビニエンスストア (ハ 13/6/4)	選択理由	②
		現状	東京都制定。ISO 日本提案の経緯あり。
		デザイン方針	国際理解の得られる図形を日本発の図記号として検討する。
年度 ④観光・文化・スポーツ施設 (27年度：0項目、28年度：2項目 計2項目) (絞り込み視点イロハ 賛成/反対/判定なし)			
28	4-14 ボランティアガイド (イロ 8/10/4)	選択理由	③オリンピックに必要
		現状	規格なし
		デザイン方針	なし
28	4-16 イヤホンガイド (イ 10/6/5)	選択理由	③オリンピックに必要
		現状	ISO 既存あり
		デザイン方針	通信状況が提供されている情報案内、デジタルサイネージを含む。 名称変更も併せて検討する。
年度 ⑤安全 (27年度：0項目、28年度：2項目 計2項目) (絞り込み視点イロハ 賛成/反対/判定なし)			
28	5-1 AED (ハ 16/3/3)	選択理由	③
		現状	日本では心肺蘇生法委員会で決議済み ISO 既存あり
		デザイン方針	団体と審議必要
28	5-9 非常停止ボタン (ハ 14/5/3)	選択理由	②
		現状	規格なし
		デザイン方針	ヘルプボタン (インターホン) の機能と非常停止ボタンの機能を整理する。
年度 ⑥禁止 (27年度：1項目、28年度：3項目 計4項目) (絞り込み視点イロハ 賛成/反対/判定なし)			
27	6-1 携帯電話使用禁止 (ハ 12/6/5)	選択理由	②
		現状	JIS 既存
		デザイン方針	スマートフォンなどの端末に対応するデザインを検討する。
28	6-8 ホームドア／ホーム柵禁止行為 (たてかけない) (ハ 8/11/4)	選択理由	③重点的に整備が進んでいくものなので、早めに統一することで安全性が高まる。
		現状	規格なし
		デザイン方針	現状を調査して共通項を見つける。
28	6-8 ホームドア／ホーム柵禁止行為 (乗り出さない) (ハ 8/11/4)	選択理由	③重点的に整備が進んでいくものなので、早めに統一することで安全性が高まる。
		現状	規格なし
		デザイン方針	現状を調査して共通項を見つける。
28	6-14 危険物 (イ 15/4/4)	選択理由	②
		現状	規格なし
		デザイン方針	ISO7010「禁煙」「火気厳禁」とのバランスをとる。

第2章

年度 ⑧指示 (27年度：0項目、28年度：1項目 計1項目) (絞り込み視点イロハ 賛成/反対/判定なし)				
28	8-1	シートベルト (イハ 16/3/4)	選択理由	②
			現状	日本バス協会で定めたものがある。
			デザイン方針	現状を調査して共通項を見つける。

年度 ⑨アクセシブル (27年度：2項目、28年度：3項目 計5項目) (絞り込み視点イロハ 賛成/反対/判定なし)				
27	9-1	オストメイト (ロ 14/4/5)	選択理由	①
			現状	既成事実として使用中
			デザイン方針	現在使用中の図記号を登録する。
27	9-2	コミュニケーション：筆談対応 (イロ 14/3/6)	選択理由	②
			現状	規格なし
			デザイン方針	「コミュニケーション：多言語対応」と調整する。
28	9-9	補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬) 同伴 (ロ 15/2/6)	選択理由	①
			現状	全国盲導犬施設連合会ほかで定めたものがある
			デザイン方針	複数団体との審議が必要
28	9-14	Accessible Taxi (ロ 12/6/5)	選択理由	①
			現状	規格なし
			デザイン方針	JIS 既存タクシーとの共通性、弁別性に配慮
28	9-23	障害者用のヘルプカウンター (ロ 11/7/5)	選択理由	①
			現状	規格なし
			デザイン方針	「1-1 案内所」に包括される案を検討する。

年度 ⑩お手洗関連 (27年度：0項目、28年度：8項目 計8項目) (絞り込み視点イロハ 賛成/反対/判定なし)				
28	10-1	和式 (イロハ 11/6/4)	選択理由	①②
			現状	規格なし
			デザイン方針	既存事例を調査
28	10-2	洋式 (イロハ 13/4/4)	選択理由	①②
			現状	規格なし
			デザイン方針	既存事例を調査
28	10-8	ベビーチェア (ロ 10/7/4)	選択理由	②
			現状	規格なし
			デザイン方針	既存事例を調査。国などの基準を調べる。
28	10-9	おむつ交換台 (ロ 10/7/5)	選択理由	②
			現状	規格なし
			デザイン方針	既存事例を調査。国などの基準を調べる。
28	10-10	キッズトイレ/子供用/男子用小便器 (ロ 7/11/4)	選択理由	③一連のトイレ関連図記号として必要
			現状	規格なし
			デザイン方針	既存事例を調査

第2章

28	10-12	多機能トイレ/ ファミリートイ レ (ロ 13/5/4)	選択理由	②
			現状	規格なし
			デザイン方針	既存事例を調査。国などの基準を調べる。
28	10-13	多目的シート/ 介護用ベッド (ロ 11/7/4)	選択理由	①
			現状	規格なし
			デザイン方針	既存事例を調査。国などの基準を調べる。
28	10-14	フィッティング ボード/着替え 台 (イハ 7/11/4)	選択理由	③一連のトイレ関連図記号として必要
			現状	規格なし
			デザイン方針	既存事例を調査

2.3 検討課題

検討すべき項目として絞り込まれ、27年度検討を進めてきた項目の中で、委員会委員等から更なる検討が必要との指摘を受けた項目は、海外発行カード対応 ATM、祈祷室、授乳室である。

2.3.1 海外発行カード対応 ATM

・板倉委員より

第2回委員会（2015年11月）後に、ご意見を頂いている。（第2回委員会議事録掲載済）

「海外発行カード対応 ATM」につきまして、委員の方から「2020年までにはほぼ全ての ATM が海外発行カードに対応していくので不要」とのお話がありましたが、確認したところ事実と異なることが分かりましたのでご連絡させていただきました。

下記、日本経済新聞の記事によりますと、全国に約19万台ある ATM のうち、2020年までに海外発行カードに対応する ATM は約8万台にとどまるとのことです。また、三大メガバンクは2020年までにみずほ、三井住友、UFJ銀行が各1000台しか対応しないようです。さらに観光庁の調査では訪日外国人の16%が ATM で現金をおろせないことに不便を感じています。

以上により、「2020年までにはほぼ全ての ATM が海外発行カードに対応予定」という事実はなく、この傾向は2020年以降も継続していくものであるとともに、外国人旅行者のニーズも高いと言えます。

上記の件につきましては、事実誤認のまま判定となつては困りますので取り急ぎ情報提供させていただきます。



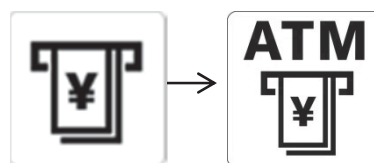
第2章



SDAにおける図案作成検討委員会にて、上記ご意見も踏まえた上で検討を進めた結果、現時点でセブン銀行など海外発行カードに対応しているATMもその対応カードはまちまちで、自分のカードが使えるかどうかはそのATMの近くに添付されているシールを確認する必要がある(写真参照)。また、2020年東京オリパラまでということ難しいが、その先を見据えると日本国内のATMの多くが海外発行カードに対応していくのではないかとこの見解を元に、「海外発行カード対応ATM」の図記号を作成しても将来的に不要になる可能性があることと、現在JISZ8210で定められている「キャッシュサービス」を「ATM」とし、図柄自体にもATMと入れることでよいのではないかとこの結論に至った。



(<http://mcha.jp/3872>より)



第2回WGにて、SDA作成案(右図参照)が検討経緯も踏まえ了承され、理解度、視認性試験を実施することとなったが、板倉委員から第2回委員会での議論内容を踏まえ、再度ATMの今後の動向などを調査する必要性についてご指摘頂いた。



事務局にて、一般社団法人全国銀行協会にヒアリングしたところ、「現時点で海外発行カードに対応しているATM以外のATMは、海外発行カードに対応するためには機器自体の交換が必要となり、莫大な費用がかかる。また、協会としては今後交換を推進する予定はないが、政府が考える方向性に従うことになる。」とのことであった。



以上を踏まえて、第2回WGで了承された図案と、東京都で作成された「海外発行カード対応ATM」のピクトグラムの双方を理解度、視認性試験を実施するに至った。



海外発行カード対応ATM(東京都作成)

また、SDAに追加で、「海外発行カード対応ATM」という項目での再度検討を依頼した結果、以下の様な図案が提出された。






第2章

2.3.2 祈禱室

・児山委員（WG 主査）より

第2回WGで（不要）となったが、外国人観光客対応の代表的なものとして検討すべき項目として挙げられてきたので、念のためヒアリングを行った。

祈禱室図記号について、多数の宗教関係者、当事者にあまねくヒアリングすることは現実的に不可能なことから、既に祈禱室図記号を使用している国内外の施設にメールによるヒアリングを行い、使用中の図記号に関する評価を得ることにした。

ヒアリング先	使用図記号	コメント
新千歳空港国際線		平成25年12月に設置して以降、国内線にも礼拝室を設置して欲しいというご要望や、礼拝室内部の設備についてのご意見はありましたが、サイン及びピクトグラムについてのご意見は1件も頂いておりません。室内には天井に方角を示すサインや靴を置くマットを設置し、宗教を問わずご利用頂ける施設としております。
成田国際空港		案内所では「お客様の声」等をチェックしているが、図記号に関するクレームや意見は特に聞いていません。
羽田空港国際線		図記号に関するクレームや意見はありません。
中部国際空港		手のないデザインについて関係者から「一部のお客様から誤解を受けないか？お祈りに見えないのではないか。」という意見が挙がりましたが実際にお客様からサインについてご意見をいただいたことはありません。

第2章

ヒアリング先	使用図記号	コメント
関西国際空港		<p>現在までのところ、特にお客様の声（良いも悪いも）頂いたことはありません。</p>
イオングループ		<p>イオン成田、イオン海浜幕張、イオン沖縄74ム、イオン名古屋茶屋：特に意見は無く、どの国の方が見ても不快に感じず、分かりやすい図柄の方が良い。 イオン常滑：現場では特にご意見もなく、問題なく運用されています。</p>
ヒースロー国際空港		<p>15年前の制定時に ISO9186 自由記述による理解度試験を行って決定した。図形は概ねイスラム教を想定しておりキリスト教やユダヤ教の祈りのスタイルとは異なるが、多様な宗教に対応するよう配慮した。</p>
ニューヨーク (左) スキポール国際空港(右)		<p>どのような宗教あるいは無宗教にも対応できるよう、できる限り中立（ニュートラル）なデザインとし、用語も‘Prayer room’ではなく‘Meditation centre’とした。図記号のクレームは聞いていない。</p>
ロンドンオリパラ 組織委員会 デザイン担当		<p>「信仰のための部屋 (Faith room)」は設けず、代わりに、利用者が祈りの気持ちを表現するために祈禱、瞑想などを行うことができる場所として「静かな部屋 (Quiet) Room」を設置した。</p>

第2章

2.3.3 授乳室

・平沢委員より

取扱注意

平成28年3月24日
国土交通省

授乳室のピクトグラム作成について（提案）

国土交通省では、昨年6月に設置した「女性が輝く社会づくりにつながるトイレ等の環境整備・利用のあり方に関する協議会（大森宣暁座長）」において、現在、授乳・おむつ替えスペースの設置等に関する議論を行っている。

去る3月1日に開催した上記協議会のWG（非公開）において、本委員会が検討しているほ乳瓶のマークを用いた授乳室のピクトグラム作成について話題になり、構成員から以下のような関連発言があった。

- ・ ほ乳瓶のマークは授乳を表すには不適切であり、授乳の様子を模した赤ちゃんを抱っこしたマークの方が望ましい
- ・ 男性育児では、赤ちゃんにほ乳瓶で母乳やミルクを与えるため、ほ乳瓶のマークは授乳・調乳双方の意味を持つ
- ・ 授乳と調乳はセットで議論すべきである

ピクトグラム作成の検討過程で、抱っこ・ほ乳瓶双方のマークを検討した結果、ほ乳瓶のマークを使用することとなったが、このように、授乳・調乳をほ乳瓶で表現することについて賛否両論の意見が出ており、さらなる議論が必要ではないかと考えている。

については、授乳室を表すピクトグラムについて、当事者（子育て団体等）への意見聴取を行うなど、次年度も引き続き検討作業を行った上で作成いただけないか。

（マークの例）



第 2 章

2.4 提案図記号案の作成

2.4.1 提案図記号デザイン依頼方針

図記号の策定については、統一性を図るため、平成 12 年度の「一般案内用図記号」策定時と同様、制作及び制作監理作業を公益社団法人日本サインデザイン協会（以後、SDA）に依頼し、実際の制作は SDA より株式会社 NDC グラフィックスに依頼した。

また、作成にあたり、検討委員会より SDA に「提案図記号デザイン依頼方針」を提供した。


○平成 27 年度の依頼作業

番号	項目	備考
1-4	乳幼児用設備	JIS 既存
1-5	授乳室	新規作成
1-30	海外発行カード対応 ATM	新規作成 デザインに審議必要
1-36	無線 LAN	日本提案の ISO あり
1-47	祈祷室	新規提案
1-60	ミーティングポイント	JIS 既存
1-80	エレベーター	JIS 既存
2-2	地下鉄	新規作成
2-17	駅事務室／駅長室／乗務員室／駅員・係員	新規作成
2-18	一般車／自家用車	新規作成
2-37	バス停	新規作成
2-51	船舶／フェリー／港	JIS 既存と ISO との調整
6-1	携帯電話使用禁止	JIS 既存
9-1	オストメイト	既成事実として公開
9-2	コミュニケーション：筆談対応	新規作成

2.4.2 提案図記号依頼方針（次頁より）

第2章



1-4 乳幼児用設備 Nursery

候補図形案	表示要素案	選定基準
 <p>現行のまま</p>	<p>図材：おむつをした乳児の正面図。 機能：授乳、おむつ交換など、乳幼児のために使用する施設を表示。 備考：授乳とおむつ交換の双方を含む上位概念として定義する。</p>	<p>移動制約者の移動支援に不可欠</p>

■デザイン方針（案）

変更なし。授乳とおむつ交換の双方を含む上位概念として定義する。

■収集図記号

1	2	3	4	5	6	7	8
							
乳幼児用設備							Nursery or baby care
<JIS 見直し希望> 外国人インタビュー							IS07001 PI PF 023

■委員評価

審議に賛成：12、審議に反対：6、無回答：4

■委員コメント

阿部委員：現状の図記号でわかりづらい等のご要望がないため。

赤瀬委員：JIS 既存で混乱ありと思えない。オムツ替えと読めない。

江本委員：乳幼児関係は現状は表示ルールが曖昧な状態にあり、お手洗い関連と併せた見直し及び新規策定が必要と考える。


児山委員：図形、意味も現状のまま。

高橋委員：現行のままで良い。

中村委員：4（乳幼児用設備）、5（授乳室）を整理する。

第2章

1-5 授乳室 Feeding booth / Feeding room

候補図形案	表示要素案	選定基準
 どちらか検討	図材：乳児を抱える中性の人※1の正面図、または ぼ奶瓶。 (※1：JISに登録することを想定し、中性とする) 機能：授乳専用の施設を表示。 備考：人工乳と母乳の両立検討。	移動制約者の移動支援に不可欠

■デザイン方針（案）

授乳専用設備を表現する。

■収集図記号

1	2	3	4	5	6	7	8
							
授乳室 宮古空港	授乳室 西武鉄道	授乳室・授乳設備 大阪市交通局	授乳室 JR 東日本	授乳室 日本標識工業 会	授乳室 日本標識工業 会	多目的室(授乳室) JR 東海	授乳室 JR 西日本
9	10	11	12	13	14	15	16
							
授乳室 新潟県新潟市朱鷺 メッセ (国土交通 省湾岸局調査)	授乳室 静岡県大井川町 (大 井川 港湾会館) (国 土交通省湾岸局調 査)	赤ちゃんの 駅 千葉県館山市みなと オアシステてやま (国土交通省湾岸局 調査)	授乳室 日本ラクテーショ ン・コンサルタン ト協会 (SDA 基礎 調査)	授乳室 長崎空港 (全国空 港ビル協会調査)	授乳室 石垣空港 (全国空 港ビル協会調査)	授乳室 函館空港 (全国空 港ビル協会調査)	授乳室 mothering (SDA 基 礎調査)
17	18	19	20	21	22	23	24
	図案なし						
授乳室 <追加希望> SDA 基礎調査	授乳室 <追加希望> 名門大洋フェリー	授乳室 <JIS 新規> エコモ財団平成 23 年度調査結果					

■委員評価

審議に賛成：14、審議に反対：6、無回答：2


■委員コメント

江口委員：乳幼児施設に統一 阿部委員：現状の図記号でわかりづらい等のご要望がないため。赤瀬委員：各事業者の対応で混乱ありとは思えない。

児山委員：授乳専用を追加する。 高橋委員：独自性があっても良い。定村委員：使用頻度が高いため。 中村委員：4（乳幼児用設備）、5（授乳室）を整理する。

第2章







1-30 海外発行カード対応 ATM ATM for international

候補図形案	表示要素案	選定基準
 国際対応	図材：ATMの文字、円の通貨記号の付いた紙幣と機器の紙幣出入り口（及び地球）。 機能：国際対応のATM及びキャッシング機器を表示。 備考：国際対応の表示の要不要を検討	外国人観光客の移動支援に不可欠

■デザイン方針（案）

JIS キャッシュサービスの絵柄に「国際」「ATM」などの表現要素を追加する。ただし、すべて国際対応になった場合の対応も検討する。

■収集図記号

1	2	3	4	5	6	7	8
	図案なし						
海外発行カード対応 ATM	海外発行カード対応 ATM	ATM コーナー	ATM	キャッシュサービス	ATM	ATM	Cash service or cash dispenser or ATM (automatic teller machine)
<追加希望> 東京都産業労働局観光部	<追加希望> JNTO TIC 外国人	JR 東日本（ビューアルツテ）	日本標識工業会	関西国際空港（国土交通省航空局調査）	成田国際空港（国土交通省航空局調査）	<JIS見直し> エコモ財団 平成23年度調査結果	ISO 7001 PI CF 005

■委員評価

審議に賛成：13、審議に反対：7、無回答：3

■委員コメント

江本委員：数年先には全て対応となる見込みのものを策定することはあまり意味がないと考える。

阿部委員：現状の図記号でわかりづらい等のご要望がないため。ATMの文字があれば認知可能ではないでしょうか。


板倉委員：11/27 竹島様にお送りしたとおり。日経新聞によると全国19万あるATMのうち、2020年までに対応するATMは8万台。三大メガバンクは各1,000台のみであり、2020年以降も対応していないATMが多数存在する見込。また、外国人旅行者のニーズも高いことから、作成しない場合、どのようにすれば外国人旅行者のニーズに対応できるのか疑問。

高橋委員：不要。

森川委員：2020年までに対応されるという面を考慮。

第2章






1-36 無線 LAN Wireless LAN

候補図形案	表示要素案	選定基準
 <p>日本提案 ISO 規格図記号</p>	<p>図材：電波を表す波形と通信端末。 機能：無線によるインターネット通信が可能な場所を示す。 備考：ISO 日本提案図記号。パソコンの図材が時代的に古いので、調整の要不要を検討する（調整不要の場合はこのまま）。</p>	<p>外国人観光客の移動支援に不可欠 不特定多数の利用者の移動支援に不可欠</p>

■デザイン方針（案）

ISO 登録図記号をそのまま JIS 化するどうかを併せて検討する。

■収集図記号

1	2	3	4	5	6	7	8
			図案なし			図案なし	図案なし
WiFi	フリーwifi 利用可能	公衆無線 LAN サービス Wireless LAN	現在位置を中心に 受信できる範囲を 示す矢印	WiFi アクセ スポイント	フリーwifi	有償スポット/無 償スポット別が認 識できる	フリーwifi
2012 ロンドン オリンピック	<追加希望> SDA 基礎調 査	<JIS 新規> エコモ財団平 成 23 年度調査 結果 ISO7001PICF 018	<追加希望> 江ノ電バス	<追加希望> 新千歳空港 (全国空港 ビル協会調 査)	<追加希望> 鹿児島空港 (全国ビル 協会調査)	<追加希望> 鳥取県、富山県、 新潟市(国土交通 省湾岸局調査)	<追加希望> 太平洋フェ リー
9	10	11	12	13	14	15	16
図案なし	図案なし						
公衆無線 LAN サービス	フリーwifi 利用可能						
<追加希望> 広栄交通バ ス	<追加希望> 神姫バス						

■委員評価

審議に賛成：18、審議に反対：3、無回答：2

■委員コメント

阿部委員：現状の図記号でわかりづらい等のご要望がないため。

江本委員：日本からの ISO 提案図記号である上、オリパラ対応としても要策定と考える。

板倉委員：前回お伝えしたとおり国が定めたマークとの整理をしないと事業者の混乱を招く恐れ。

児山委員：ISO 日本提案。


高橋委員：現行でも問題が生じるとは思われない。

定村委員：使用頻度が高いため。

中村委員：スマホを考慮する案作成。

第2章

1-47 祈禱室 Prayer room

候補図形案	表示要素案	選定基準
 上図を調整	図材：祈禱行為をシンボライズするひざまずいて頭を垂れる人の側面図。 機能：宗教に関わらず祈りを捧げることのできる部屋を示す。 備考：各種の宗教に共通すること。海外でも座位の図材が多数ある。	外国人観光客の移動支援に不可欠

■デザイン方針（案）

一つの宗教イメージに偏らない汎用性のあるデザイン（ネイティブの意見を聞くなど慎重に）

■収集図記号

1	2	3	4	5	6	7	8
							
祈禱室	祈禱室 (女性用)	祈禱室	祈禱室	祈禱室	礼拝室	祈禱室	礼拝室
福岡空港	南海電気鉄道	南海電気鉄道	関西国際空港（国土交通省航空局調査）	成田国際空港（国土交通省航空局調査）	新千歳空港（全国空港ビル協会調査）	<追加希望> SDA 基礎調査	<追加希望> 鹿児島空港（全国空港ビル協会調査）

■委員評価

審議に賛成：12、審議に反対：6、無回答：5

■委員コメント

中野委員：宗教については問題が生じる恐れがあるが、一般的な「祈る」をモチーフにすればよいのではないかと。

阿部委員：当社としては特に意見はございません。

赤瀬委員：文化的背景調査に相当時間が必要。

児山委員：ニーズが高い、観光施策として必要。


高橋委員：分かりにくいピクト、宗教の全てに関わらなければ問題となる。

船戸委員：宗教によって異なるため。

中村委員：宗教上必要と思われる団体が作製する。

第2章




1-60 ミーティングポイント Meeting point

候補図形案	表示要素案	選定基準
 <p>現行のまま</p>	図材：かばんを持った人と握手する人の側面図。 機能：待ち合わせ場所を表示。 備考：現行の図で ISO 提案中。	外国人観光客の移動支援に不可欠

■デザイン方針（案）

検討項目となったが現状のまま。

■収集図記号

1	2	3	4	5	6	7	8
							
ミーティングポイント	ミーティングポイント						Meeting point
<JIS 見直し> エコモ財団 平成23年度 調査結果	<JIS 見直し希望> 外国人インタビュー						IS07001 PI TF 042 検討中

■委員評価

審議に賛成：12、審議に反対：6、無回答：5

■委員コメント

中野委員：現行のまままでよい。

阿部委員：当社としては特に意見はございません。

赤瀬委員：ISO 検討中に替える方向性なら JIS 改訂の意味はない。

江本委員：IS 化で審議中の図材は、先行して JIS 化されているものと同様のものであるため。


児山委員：ISO 日本提案につき、今のままとする。

高橋委員：現行は意味が分からないピクト。

中村委員：ISO 使用。

第2章



1-80 エレベーター Elevator

候補図形案	表示要素案	選定基準
 <p>上図を調整</p>	<p>図材：人の入ったかごの上に方向を示す上下の矢印。 機能：エレベーターのある場所を表示。 備考：視認性改良を検討する。direction arrow (↓↑) の使用は IS080416-2 矢印原則に適応。</p>	<p>移動制約者の移動支援に不可欠</p>

■デザイン方針（案）

JIS 既存の視認性の改善

■収集図記号

1	2	3	4	5	6	7	8
							
エレベーター							Elevator or lift
<JIS 見直し> エコモ財団 平成23年度 調査結果							IS07001 PI PF 019

(参考) エレベーター上下専用

1	2	3	4	5	6	7	8
		図案なし	図案なし				
エレベーター(階下ゆき)	エレベーター(階上ゆき)	エレベーター 一下向き	エレベーター 一上向き				
東京地下鉄	東京地下鉄	<追加希望> 名古屋市交通局	<追加希望> 名古屋市交通局				

■委員評価

審議に賛成：15、審議に反対：3、無回答：5

■委員コメント

中野委員：現行のままでよい。 阿部委員：当社としては特に意見はございません。

赤瀬委員：視認性改善が喫緊課題。


江本委員：既に JIS の図材が浸透している。視認性にも決定的な問題があるようには見受けられない。

高橋委員：特に問題が生じているとは思われないが、問題があるのであれば。

中村委員：JIS と ISO。

第2章






2-2 地下鉄 Subway

候補図形案	表示要素案	選定基準
 <p>上図を調整</p>	<p>図材：電車の正面図と線路にトンネルを示す曲面の覆い。 機能：地下鉄及び地下鉄駅を表示。 備考：MやU等の省略言語には依存しない。</p>	<p>外国人観光客の移動支援に不可欠</p>

■デザイン方針（案）

JIS既存の「鉄道/鉄道駅」に、トンネルの要素を追加する。MやU等の省略言語には依存しない。

■収集図記号

1	2	3	4	5	6	7	8
					図案なし	図案なし	
地下鉄	地下鉄	地下鉄	地下鉄	地下鉄			Underground or metro railway station or trains
<追加希望> 福岡市交通局	東京地下鉄	日本標識工業会	<追加希望> SDA 基礎調査	JR 西日本	<H26年度地図記号に関する外国人に分かりやすいアンケート結果> 国土地理院	<追加希望> JNT0 TIC 外国人	ISO7001 PI TF 003

■委員評価

審議に賛成：16、審議に反対：8、無回答：2

■委員コメント

中野委員：ISOの図記号も分かりにくい。イメージは地下を強調。

阿部委員：現状の図記号でわかりづらい等のご要望はないため。

船戸委員：必要であるが記号はどの様にすべきか。

赤瀬委員：現行JIS（注：鉄道）で問題なし。利用に路線の識別が必要。

江本委員：標準化の緊急性は低いと考える。

板倉委員：第2回検討会において委員より発言があったとおり、都内では直通も多く、路線マークの普及を進めていることから作成しても普及は進まないと思われる。

児山委員：交通体系整理に必要。


高橋委員：日本及び交通事業者の独自性があっても外国人に問題になるとは思えない。

中村委員：ISOは日本の実情に合わない。

第2章

2-17 駅事務室／駅長室／乗務員室／駅員・係員

Station office / Station master / Train crew / Station staff

候補図形案	表示要素案	選定基準
 上図を調整	図材：制服、制帽を着用した人の上半身側面図。 機能：駅係員全般を表示。 備考：会社を特定するものではなく、またJIS警察図記号と誤認しないこと。	不特定多数の利用者の移動支援に不可欠

■デザイン方針（案）

JIS「警察」や「入国審査」と誤認しないデザインとする。

■収集図記号

1	2	3	4	5	6	7	8
							
駅事務室 横浜市交通局	駅事務室 小田急電鉄	駅事務室 〈追加希望〉 札幌市交通局	駅事務室 相模鉄道	駅長室 大阪市交通局	駅事務室 南海電鉄鉄道	乗務員室 南海電鉄鉄道	駅長室 名古屋市交通局
9	10	11	12	13	14	15	16
				図案なし	図案なし	図案なし	
駅事務室 JR 東日本	駅事務室 東京地下鉄	駅長事務室・駅事務室 JR 東海	駅事務室 JR 西日本	駅事務室表記 〈追加希望〉 京王電鉄	駅係員 〈追加希望〉 東京急行電鉄	駅員・係員 〈JIS 新規〉 エコモ財団 平成23年度 調査結果	

■委員評価

審議に賛成：17、審議に反対：2、無回答：4

■委員コメント

江口委員：統一すべき。

中野委員：警察（交番）と駅員の区別は難しいが違いを表す。

船戸委員：駅員が居ない場合の運用などは対応が必要。


赤瀬委員：管理施設マークでなく、ヘルプ対応所としての記号化を。

高橋委員：現行ピクトは外国人には通用しない。インフォメーションピクトで良いと思う。

中村委員：駅員と鉄道公安員の違いに混乱する。

第2章






2-18 一般車／自家用車 Car / Private car

候補図形案	表示要素案	選定基準
 <p>上図を調整</p>	<p>図材：乗用車の正面図。 機能：個人所有の車両全般を表示。 備考：JIS タクシーの屋根上部表示を削除、または JIS レンタカーの車を利用する。</p>	<p>不特定多数の利用者の移動支援に不可欠</p>

■デザイン方針（案）

JIS 既存のタクシーの上部表示を削除する。

■収集図記号

1	2	3	4	5	6
			バス、タクシーについてはほぼ統一されているが一般車両については、規定された図記号がなくバラバラで統一する必要がある。		
Car	一般車	自家用車	一般車乗降場	降車場	一般乗降所
2012 ロンドンオリンピック	成田国際空港（国土交通省航空局調査）	JR 東海	<追加希望> 中野豊委員（日本標識工業会）	石垣空港（全国空港ビル協会調査）	新千歳空港（全国空港ビル協会調査）

■委員評価

審議に賛成：10、審議に反対：7、無回答：5

■委員コメント

江口委員：デザインの的に無理では。

阿部委員：当社としては特に意見はございません。

加藤委員：駐車場への誘導に不可欠。

江本委員：標準化の緊急性は低いと考える。


児山委員：使用する場面が多い。

高橋委員：図記号としての統一は不要。

中村委員：TAXI との差別化。

第2章








2-37 バス停 Bus stop

候補図形案	表示要素案	選定基準
 <p>上図を調整</p>	<p>図材：標識と自立ポール。 機能：バスの停留所を示す。 備考：一般のバス停とし、バスターミナルや長距離バスの発着所などは除く。「次とまります」は含まない。</p>	<p>不特定多数の利用者の移動支援に不可欠</p>

■デザイン方針（案）

一般のバス停とし、バスターミナルや長距離バスの発着所などは除く。

■収集図記号

1	2	3	4	5	6	7	8
						図案なし	
次とまります	バス底流所	Bus pick up	Bus drop off	バス停	バス停	バス停／バスターミナル	①Bus disembarkation ②Bus embarkation.
京浜急行（一般路線バス）	日本標識工業会	2012 ロンドンオリンピック	2012 ロンドンオリンピック	〈追加希望〉SDA 基礎調査	〈JIS 新規〉エコモ財団平成 23 年度調査結果	〈H26 年度地図記号に関する外国人に分かりやすいアンケート結果〉国土地理院	①ISO7001 PI TF039 ②ISO7001 PI TF040 検討中 (2015.12 月 本資料に追加)

■委員評価

審議に賛成：16、審議に反対：2、無回答：4

■委員コメント

阿部委員：当社としては特に意見はございません。

船戸委員：是非とも必要であると考えます。

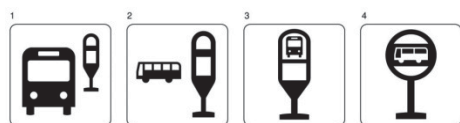
赤瀬委員：「次とまります」と「バス停」がなぜ一括？ バス停に○。

高橋委員：限られた利用になる。事業者の独自性でも問題ない。

中村委員：多様なバス会社で統一必要。


江本委員：ISO 審議中の“Bus disembarkation(PI TF 039)”と“Bus embarkation(PI TF 040)”とを考慮に入れた方がよいのではないかと。

(参考) ISO 提案に向けた国内案 2008



第2章



2-51 船舶／フェリー／港 Ship / Ferry / Port

候補図形案	表示要素案	選定基準
 <p>上部を調整する</p>	<p>図材：船の側面図。 機能：水上交通施設及び港を表示。 備考：ISO 整合を考え波を入れる？現行策定時も ISO（当時は波なし）は参照。 JIS 船体はフェリー、大型、小型など多用途に対応できる。</p>	<p>外国人観光客の移動支援に不可欠</p>

■デザイン方針（案）

JIS と ISO を比較検討する。

■収集図記号

1	2	3	4	5	6	7	8
							
船舶／フェリー／港							Port or ships or ferries or boats
<JIS 見直し希望> 日本旅客船協会							IS07001 PI TF 004

■委員評価

審議に賛成：14、審議に反対：4、無回答：4

■委員コメント

阿部委員：当社としては特に意見はございません。

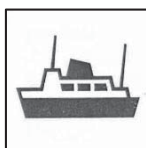
江本委員：標準化の緊急性は低いと考える。

児山委員：現状で問題ない。

高橋委員：図記号としての統一は不要。


中村委員：既存各社のもので混乱しないと思う。

(参考) JIS Z8210 策定時の IS07001 Second edition 024 Boat



第2章

6-1 携帯電話使用禁止 Do not use mobile phones

候補図形案	表示要素案	選定基準
 現行のまま？	図材：携帯電話の正面図に禁止の基本形状を重ねる。 機能：携帯電話の使用を禁止する場合に表示。 備考：スマートフォンなどの端末に対応するデザインを検討する。	不特定多数の利用者の移動支援に不可欠

■デザイン方針（案）

スマートフォンなどの端末に対応するデザインを検討する。

■収集図記号

1	2	3	4	5	6	7	8
	図案なし	図案なし					
携帯電話使用禁止 携帯電話のご提案図 	スマートフォンピクトグラムとの併記	携帯電話使用禁止の図材をスマホに					
<JIS 見直し希望> SDA 基礎調査	<JIS 見直し希望> 近畿日本鉄道	<JIS 見直し希望> 京阪電気鉄道					

■委員評価

審議に賛成：12、審議に反対：6、無回答：5

■委員コメント

江口委員：携帯電話使用禁止ということ自体が国際的ではない。

中村委員：携帯とスマホの普及を配慮。

阿部委員：当社としては特に意見はございません。


赤瀬委員：現 JIS6.2.12（携帯電話使用禁止）で理解不能とは思えない。

江本委員：「待ち」の状態を砂時計という古い媒体で表現することがあるように、概念を表すものと捉えれば、図材を変更することまでは行わなくてよいように考える。

高橋委員：現行でも全く問題ない、スマートフォンのデザインをどうするか見えない。

第2章










9-1 オストメイト Ostomate

候補図形案	表示要素案	選定基準
 このまま	図材：人の上半身正面図の右下に医療を表す十字形。 機能：人工肛門装着者の手洗い設備を表示。 備考：既に普及している現行を使用する。	移動制約者の移動支援に不可欠

■デザイン方針（案）

現在使用中の図記号を JIS 登録する。

■収集図記号

1	2	3	4	5	6	7	8
							
オストメイト 横浜市交通局	オストメイト 京成電鉄	オストメイト 東武鉄道	オストメイト 南海電気鉄道	オストメイト JR 東日本	オストメイト対応設備 関西国際空港（国土交通省航空局調査）	オストメイト JR 東海	オストメイト 〈JIS 新規〉 エコモ財団 平成23年度 調査結果
9	10	11	12	13	14	15	16
							
オストメイト 北九州空港 （全国空港ビル協会調査）	オストメイト設備 石垣空港 （全国空港ビル協会調査）	オストメイト設備 長崎空港 （全国空港ビル協会調査）	オストメイト設備 函館空港 （全国空港ビル協会調査）	オストメイト対応設備 東京国際空港 （全国空港ビル協会調査）			

■委員評価

審議に賛成：13、審議に反対：4、無回答：5


■委員コメント

阿部委員：現状の図記号でわかりづらい等のご要望がないため。

江本委員：お手洗い関係の図記号策定に伴い、既に浸透しているオストミー協会策定のマークをそのまま標準化することが適当と考える。

第2章




9-2 コミュニケーション：筆談対応 Communication by writing

候補図形案	表示要素案	選定基準
 <p>上図を調整</p>	図材：人及び筆談器具。 機能：コミュニケーションの際に利用可能な筆談器具があることを表示。 備考：JIS コミュニケーションの図と共通性を図る。	外国人観光客の移動支援に不可欠 移動制約者の移動支援に不可欠

■デザイン方針（案）

「(既存) コミュニケーション(多言語対応)、「1-1 案内所」と調整する。

■収集図記号

1	2	3	4	5	6	7	8
			図案なし	図案なし	図案なし	図案なし	図案なし
筆談対応マーク	手話・筆談・難聴対応	筆談できます	筆談対応マーク	筆談対応マーク	筆談対応マーク	筆談対応マーク	筆談対応マーク
阪急電鉄	日本標識工業会	JR 西日本	<追加希望> 全日本聾唖連盟	<追加希望> 神姫バス	<追加希望> 京王電鉄	<追加希望> 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会	<追加希望> 名門大洋フェリー

■委員評価

審議に賛成：14、審議に反対：2、無回答：6

■委員コメント

阿部委員：当社としては特に意見はございません。

高橋委員：標準化すべき事項であるので、特化する必要はない。

(参考) JIS Z 8210 5.4.10 コミュニケーション

Communication in the specified language



第 2 章

2.4.3 提案図記号案の作成

①事業名

オリンピック、パラリンピック開催に向けた案内図記号の作成事業

②委託者名

公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団

③受託者名

公益社団法人 日本サインデザイン協会

④業務内容

1：平成 27 年度の審議項目について、案内図記号の作成

2：報告書の作成

⑤履行期間

平成 27 年 12 月 24 日 から 平成 28 年 2 月 5 日

⑥SDA 案内用図記号作成検討委員会検討委員

委員会：定村俊満（主査）、竹内誠、久田邦夫、宮崎桂、宮沢功、横田保生

ワーキングチーム：宮崎桂、渡辺光恵

案内用図記号作成：中川憲造（株式会社 NDC グラフィックス）

⑦依頼項目

1.4：乳幼児用設備

1-5：授乳室

1-30：海外発行カード対応 ATM

1-36：無線 LAN

1-47：祈祷室

1-60：ミーティングポイント

1-80：エレベーター

2-2：地下鉄

2-17：駅事務室／駅長室／乗務員室／駅員・係員

2-18：一般車／自家用車

2-37：バス停

2-51：船舶／フェリー／港

6-1：携帯電話使用禁止

9-1：オストメイト

9-12：コミュニケーション：筆談対応

⑧検討スケジュール

・第 1 回 SDA 案内用図記号作成検討委員会

平成 27 年 12 月 22 日 SDA 事務局

●受託事業の内容の確認（27 年度／28 年度の審議 1 項目）

・第 2 回 SDA 案内用図記号作成検討委員会

平成 28 年 01 月 07 日 SDA 事務局

●27 年度の審議項目についてモチーフ・方向性の審議

→ NDC（中川憲造氏）へ デザインの依頼

第2章

・第3回 SDA 案内用図記号作成検討委員会

平成 28 年 02 月 02 日 SDA 事務局

●NDC 作成案の審議 → SDA 提案図案の決定

再審議・視認試験用図案の提出

平成 28 年 02 月 17 日

●授乳室、乳幼児用設備の並記の検討

●エレベーター、エスカレーター、階段併記の検討

●無線 LAN の検討

平成 28 年 03 月 04 日

●海外発行カード対応 ATM の検討

2.4.4 提案の作成方針

項目	図記号の作成・提案 / 審議の報告
1-4 乳幼児用設備	1: 「乳幼児用設備」については、包括的な概念として現状のままとする。 2: 別に授乳室がある場合は「授乳室」を付加する。
1-5 授乳室	1: 象徴アイテムとして、哺乳瓶をモチーフとする。 (母子のモチーフは行為の図) 2: 哺乳瓶を使って母乳を与える場合も多い(哺乳瓶=人工乳とは限らない) 3: 男性の育児参加の現状と推奨の背景を考慮。 4: 緩やかな変更を許容する(図記号の)仕組みも検討。 ●: 第2回 WG※の意見を受け、 「乳幼児用設備」との併用を考え、バランスを検討。
1-30 海外発行カード 対応 ATM	1: 「キャッシュサービス」図記号 → 「ATM」図記号への改定の提案。 2: 別途、海外対応の記号(地球など)を作成。 3: 新規記号(地球等)が旅行者に浸透するか?効果的に機能するか?疑問。 4: 海外対応の図記号の認識度試験(対外国人)を行う。 5: 海外対応については、利用可能カードの表示付加(現状通り)。 6: ATMの実情調査が必要。 7: ATM運営社へのヒアリング調査を受けて、新たな検討の提案。
1-36 無線 LAN	1: 円弧の広がり of 図形をモチーフとする。 2: 公共図記号のスタイルで作成する。 ●: 第2回 WG※の意見を受け、同心円案の検討。
1-47 祈祷室	1: 膝間付いて、頭を垂れている姿をモチーフとする。 2: 「祈っている様子」がわかりやすい図形とする。
1-60 ミーティングポ イント	1: 韓国、中国も人型の図記号を採用している状況を鑑み、 現状のままとする。
1-80 エレベーター	1: 既存の箱中の3人がノイズになっているのではないかと 2: シンプルな人案を作成し、現図記号と比較試験を行う。 3: シンプルな人案の検討結果、既存図記号の継続を提案。 ●: 第2回 WG※の意見を受け、 「エレベーター」「エスカレーター」「階段」の3つのバランスを再検討。
2-2 地下鉄	1: トンネルに鉄道というモチーフとする。 2: ネガポジの反転の可能性もあり。

第2章

2-17 駅事務室／駅長室／乗務員室／駅員・係員	1：既存のネクタイのないシンプルな制服姿をベースとする。 2：駅員の象徴アイテムの付加を検討する。
2-18 一般車／自家用車	1：現図記号の「タクシー」「レンタカー」の車両を基本としたモチーフとする。
2-37 バス停	1：既存の「横型バス」では、小さくなるとわかりにくいという課題。 2：新規に「正面バス」をモチーフとし、案を作成。 3：既存の「横型バス」の扱いはどうするか？既に浸透し、機能している。 4：「正面」と「横型」を共存させるか？意味を区別させることは可能か？ 5：「バス」関係の全ての図記号を統一する。 6：結果として、既存「バス／バス乗り場」を新規案に差し替える提案。 7：理解度試験については、「バス」という回答が得られればクリアとする提案。
2-51 船舶／フェリー／港	1：波のモチーフを加えて作成。
6-1 携帯電話使用禁止	1：音声（会話・着信音）の問題か？通信（電磁波などの害）の問題か？ 2：通話の禁止か？データ通信機器（ゲームも含む）の禁止か？ 3：電源 OFF の意味か？使用禁止の意味か？ 4：現場のニーズを再調査し、再審議としたい。
9-1 オストメイト	1：既存図形の提案
9-12 コミュニケーション： 筆談対応	1：「筆談対応」「外国語対応」など、コミュニケーションシリーズは共通のデザインで開発を進めるということか？ 2：人型が複数並んだら、鬱陶しい印象にならないか？ 3：筆談ボードとは何か？あえて必要か？ 鉛筆のみの方が、前知識が不要で理解しやすいのではないか？ 4：言語が増えた場合、吹き出しの中はどのように表現するか？ 5：設置者の采配による、自由度の高い図記号として定められている。 6：「筆談対応」と「外国語対応」の双方のバランスを整えて提案とする。

第 2 章




2.4.5 提案図記号

項目	提案図記号	備考
1-5 授乳室		 既存 JIS: 乳幼児施設とのバランスを検討
1-30 海外発行カード 対応 ATM		 海外発行カード対応機を地球で表現する 案: 合体型 (左) と併用型 (右)
1-36 無線 LAN		 円弧の広がりが 90° (左) と 円弧が同心円の案 (右)
1-47 祈祷室		 傾斜角度の検討: 15° (左) 20° (右)
1-80 エレベーター		 既存 JIS (左) との比較

第2章

項目	提案図記号	備考
2-2 地下鉄		 既存 JIS : バス、鉄道／鉄道駅との比較
2-17 駅事務室／駅長室／乗務員室／ 駅員・係員		 既存 JIS : 警官、出国手続／入国手続／検疫／書類審査との比較
2-18 一般車／自家用車		 既存 JIS : タクシー、レンタカーとの比較
2-37 バス停		 既存 JIS : バス、鉄道／鉄道駅との比較
2-51 船舶／フェリー／港		 既存 JIS との比較

第 2 章

項目	提案図記号	備考
9-1 オストメイト		
9-12 コミュニケーション： 筆談対応		 既存 JIS : コミュニケーションとの比較

第2章

2.5 理解度・視認性試験

2.5.1 試験実施概要

作成した提案図記号案について、一般に対する評価を客観的に把握するために理解度及び視認性試験を行った。

試験対象項目の検討経緯は以下の通りである。

	SDA依頼方針	SDA検討結果	WG検討結果	理解度・視認性試験実施項目
1-4	乳幼児用設備			
1-5	授乳室	授乳室	授乳室	授乳室
1-30	海外発行カード対応ATM	海外発行カード対応ATM	海外発行カード対応ATM	海外発行カード対応ATM
1-36	無線LAN	無線LAN	無線LAN	無線LAN
1-47	祈祷室	祈祷室		祈祷室
1-60	ミーティングポイント			
1-80	エレベーター	エレベーター	エレベーター	エレベーター
2-2	地下鉄	地下鉄	地下鉄	地下鉄
2-17	駅事務室／駅長室／乗務員室／駅員・係員	駅事務室／駅長室／乗務員室／駅員・係員	駅事務室／駅長室／乗務員室／駅員・係員	駅事務室／駅長室／乗務員室／駅員・係員
2-18	一般車／自家用車	一般車／自家用車	一般車／自家用車	一般車／自家用車
2-37	バス停	バス停		
2-51	船舶／フェリー／港	船舶／フェリー／港	船舶／フェリー／港	船舶／フェリー／港
6-1	携帯電話使用禁止			
9-1	オストメイト	オストメイト	オストメイト	オストメイト
9-12	コミュニケーション：筆談対応	コミュニケーション：筆談対応	コミュニケーション：筆談対応	コミュニケーション：筆談対応
				海外発行カード対応ATM（東京都）
	15項目	12項目	10項目	12項目

①試験対象項目（12項目）

					
授乳室	海外発行カード対応ATM	海外発行カード対応ATM（東京都）	無線LAN	祈祷室	エレベーター
					
地下鉄	駅事務室／ 駅長室／乗 務員室／駅 員・係員	一般車／自 家用車	船舶／フェ リー／港	オストメイ ト	コミュニケ ーション：筆 談対応

海外発行カード対応ATMと海外発行カード対応ATM(東京都)については、一人の回答者が同一項目に答えることはできないため、回答者のグループを2つに分けて実施した。

祈祷室はワーキングの検討で対象外となったが、外国人観光客対応の代表的なものとして過半数の委員が審議に賛成したことから、図記号の浸透を調査するために事務局判断で実施した。

第2章

②実施方法

ウェブ調査（株式会社マクロミル）

③実施時期

平成28年2月10日（水）から 3月11日（金）

④実施国及び対象者数

5カ国（日本、英国、米国、中国、シンガポール） 計640名

・日本 400名の内訳

グループ		年齢区分	
男性		15-30歳	40
		31-50歳	40
		51-64歳	40
女性		15-30歳	40
		31-50歳	40
		51-64歳	40
高齢者	男性	65歳以上	40
	女性	65歳以上	40
※性別、年齢問わず		車椅子使用者	40
		聴覚障害者	40
合計			400

・英国、米国、中国、シンガポール 240名（1カ国あたり60名）の内訳

グループ		年齢区分	
男性		15-30歳	10
		31-50歳	10
		51歳以上	10
女性		15-30歳	10
		31-50歳	10
		51歳以上	10
1カ国あたり			60

※ATMと海外発行カード対応ATMについては、グループを2つに分けて実施したため、対象者数は、320名となる（5カ国（日本（200名）、英国（30名）、米国（30名）、中国（30名）、シンガポール（30名）））。

2.5.2 調査画面構成

調査画面は、説明ページ、フェイスページ、記入例ページ及び調査ページの順で構成される。調査ページの表示順番は、順序効果の偏りを防止するためランダム表示とした。

第2章

② 説明ページ：調査内容をするページ

これからお見せするいくつかの図記号(ピクトグラム)の評価について、ご協力をお願いします。

ご注意
 ・調査の目的は図記号を評価することにあります。あなたの知識や見え方を評価するものではないので、お分かりになる範囲でお答え下さい。
 ・回答はお一人でお願します。どなたにも強制しないで下さい。
 ・時間制限はありませんが、それぞれの回答にあまり時間をかけないでください。

では、まずあなた自身についてお尋ねします。

②フェイスページ：回答者の属性を回答するページ

S1 あなたの住まいの国をお選びください。*

1. イギリス
 2. アメリカ
 3. シンガポール
 4. 中国
 5. 日本

S2 あなたの性別をお選びください。*

1. 男性
 2. 女性

S3 あなたの年齢をお選びください。*

1. 中学
 2. 高校卒
 3. 大学以上
 4. その他

S4 あなたの性別をお選びください。*

1. 男性
 2. 女性

内容をよく確認のうえ、【次へ】ボタンを押してください。
 (あとからこの画面に戻ることができません)

戻る(回答者には表示されません) 次へ

S11 普段の見え方について、あなたに当てはまるものをお選びください。*

1. 物に気づかない
 2. 見えづらい
 3. 見えやすい

S12 普段の聴こえ方について、あなたに当てはまるものをお選びください。*

1. 物に気づかない
 2. 聞こえづらい
 3. 聞こえやすい

S13 あなたが現在利用しているデバイスをお選びください。*

1. PC(11インチ以上)
 2. PC(11インチ未満)
 3. タブレット端末
 4. スマートフォン
 5. その他

S14 あなたが外出時に使用する機器はありますか。あてはまるものを全てお選びください。*

1. 特にな
 2. 手動車いす
 3. 電動車いす
 4. カート
 5. 杖
 6. 盲杖
 7. コミュニケーションツール(コミュニケーション支援ボード、翻訳机等)
 8. その他


内容をよく確認のうえ、【次へ】ボタンを押してください。
 (あとからこの画面に戻ることができません)

戻る(回答者には表示されません) 次へ

③記入例ページ：記入方法を例示するページ

回答例

この図記号は、公共施設、交通施設などで使用されます。




1. あなたは、この図記号は何を意味すると思いますか？

エスカレーター

回答例

次に、図記号の見え方についてお尋ねします。
 2. 次の小さい図記号の見え方を1～5の中から一つ選んでチェックをして下さい。




1 2 3 4 5

形がわからない 形がやや見えにくい どちらともいえない 形が大分見える 形がはっきり見える

④調査ページ：回答を送信するページ

以下の質問では、1つ1つの画面表示を100%確認して頂上、画像をきちんと確認の上で回答して下さい。
 この図記号は、公共施設、交通施設などで使用されます。




Q1 あなたは、この図記号は何を意味すると思いますか？*

※500文字以内で記入ください。

次に、図記号の見え方についてお尋ねします。

Q2 次の小さい図記号の見え方を1～5の中から一つお選びください。*



1 2 3 4 5

形がわからない 形がやや見えにくい どちらともいえない 形が大分見える 形がはっきり見える

内容をよく確認のうえ、【次へ】ボタンを押してください。
 (あとからこの画面に戻ることができません)

第 2 章

2.5.3 理解度試験

図記号の理解の程度(わかりやすさ)を評価するために、IS09186-1 (Comprehension test) に示されている自由記述方式を参考に実施した。

①評価方法

	評価基準
1	正しい
2 a	間違い
2 b	間違い、かつ反対の意味
3	分からない(疑問符や“?”をつけた回答は3とする)
4	無回答

②評価基準

ISO/TC145SC1 案内用図記号委員会では、公共案内用記号を新規提案するためには正解率 66%以上を推奨しているので、66%を評価基準とした。

2.5.4 視認性試験

図記号の視認の程度(見えやすさ)を評価するために JIS S 0102-2000 (消費者用警告図記号—試験の手順)を適用した。試験はデスクトップ及びノートパソコンのモニター(11 インチ以上)で表示する図記号の大きさを 8mm 角に設定して行った。

①評価方法

段階	評価基準	評価	回答者数
5	容易に見える	100 点	n 1
4	見える	75 点	n 2
3	どちらでもない	50 点	n 3
2	やや見にくい	25 点	n 4
1	見にくい	0 点	n 5

<評価点算出方法> 評価点 = $(100 \times n1 + 75 \times n2 + 50 \times n3 + 25 \times n4) \div (n1 + n2 + n3 + n4 + n5)$

②適合基準 (JIS S 0102-2000)

評価点	評価区分	使用条件
75 点以上	使用可	見やすさについては全く問題ない 理解度評価点 65 点以上必要
50~74 点	使用可	見やすさについて若干の問題がある このまま使用する場合は、理解度評価点 85 点以上必要
25~49 点	使用不可	修正の上、再試験を行う
24 点以下	使用不可	見やすさについて問題があり使用を止める

第2章

2.5.5 理解度試験、視認性試験実施結果

①概要

図記号は、初めて見た際でも、その意味が分かることが望ましいとされるが、今回の提案図記号案は、例えば「オストメイト」のように今までにない概念のものや、「地下鉄」のように、既に「鉄道」という大きな概念があるものを更に区分するものが含まれている。また、「祈祷室」など、国によって状況が異なるので理解度に差が現れている。更に、調査時に設置状況を写真で示すような説明は行っていない。

従って、理解度試験の結果を評価する場合は、単純に点数で評価するのではなく、今後の普及を見据えた新たな戦略の実施等を加えて判断する必要がある。












②評価基準（要点のみ）

評価の際は、回答が既に JIS Z8210 に存在する図記号の名称の場合は、敢えて間違いとした（例：「地下鉄」に対する「鉄道」「電車」の回答は間違い）。

	「正しい」としたもの	「間違い」としたもの
授乳室	授乳場所、ほ乳瓶、ミルク、ミルクをあげる場所、ミルクを温める	おむつ交換所、ベビールーム、乳幼児施設、赤ちゃん用
海外発行カード対応 ATM	キャッシュマシン、銀行、海外の通貨/カードで引き出し可能	海外の通貨が引き出せる、両替 外国為替
無線 LAN	WiFi、インターネット、電波状態、通信可能	音声関連、警告、ブザー、視野の広がり関連
祈祷室	お祈りの場所、イスラム教の何か	しゃがむ、ひざまずく、正座、座る、謝罪
エレベーター	エレベーター、エレベーターの定員、昇降	3人乗り、往復施設 男性用昇降機
地下鉄	地下鉄の案内、メトロ、地下鉄かバス	鉄道、電車、トンネル（の入口、出口） 電車が来る、電車の標識
駅事務室／駅長室／乗務員室／駅員・係員	車掌、運転士、きっぷ拝見、検札、駅	駅に特定できないもの：コンシェルジェ、サービススタッフ、道案内等
一般車/自家用車	乗用車、車、自動車（回答者の意図が不明のため）、車レーン、車ゾーン	駐車場、車両通行（可）
船舶／フェリー／港	船、フェリー、観光船、航海、港、埠頭	横波注意、船の海難
オストメイト	オストメイト用トイレ、人工肛門装着者	病院、医療関係、身体障害者、配慮/助けが必要、内部障害者
コミュニケーション：筆談対応	筆記用具がある、筆記用ボード、筆記場所	筆記、タブレット、手書き、案内所













第2章

③理解度試験結果一覧 理解度 66%以上

		正解率(%)							
		日本 (全体)	日本 (車椅子使用者)	日本 (聴覚障害者)	アメリカ	イギリス	シンガポール	中国	
授乳室 	[G1]	93.0%	100.0%	85.0%	70.0%	76.7%	80.0%	86.7%	
	[G2]	89.5%	90.0%	85.0%	66.7%	70.0%	83.3%	80.0%	
海外発行カード対応ATM 	[G1]	98.0%	100.0%	95.0%	93.3%	100.0%	100.0%	93.3%	
	[G2]	87.0%	85.0%	65.0%	76.7%	86.7%	96.7%	70.0%	
無線LAN 	[G1]	70.5%	55.0%	60.0%	63.3%	63.3%	93.3%	90.0%	
	[G2]	71.5%	80.0%	60.0%	63.3%	86.7%	86.7%	93.3%	
祈祷室 	[G1]	10.0%	5.0%	5.0%	60.0%	56.7%	73.3%	10.0%	
	[G2]	12.0%	5.0%	0.0%	46.7%	63.3%	80.0%	13.3%	
エレベーター 	[G1]	94.0%	100.0%	90.0%	53.3%	70.0%	96.7%	66.7%	
	[G2]	94.0%	85.0%	100.0%	53.3%	73.3%	86.7%	56.7%	
地下鉄 	[G1]	37.0%	35.0%	35.0%	43.3%	30.0%	36.7%	36.7%	
	[G2]	42.5%	35.0%	40.0%	26.7%	30.0%	50.0%	60.0%	
駅事務室/駅長室/… 	[G1]	68.0%	30.0%	70.0%	13.3%	30.0%	3.3%	3.3%	
	[G2]	67.0%	55.0%	25.0%	6.7%	46.7%	13.3%	6.7%	
一般車/自家用車 	[G1]	62.5%	65.0%	63.2%	63.3%	60.0%	60.0%	73.3%	
	[G2]	61.0%	45.0%	65.0%	83.3%	66.7%	63.3%	70.0%	
船舶/フェリー/港 	[G1]	93.0%	85.0%	85.0%	83.3%	90.0%	100.0%	100.0%	
	[G2]	93.5%	80.0%	95.0%	96.7%	100.0%	90.0%	96.7%	
オストメイト 	[G1]	4.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	[G2]	6.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
コミュニケーション 筆談対応 	[G1]	28.0%	20.0%	40.0%	0.0%	3.3%	3.3%	13.3%	
	[G2]	31.0%	10.0%	20.0%	0.0%	10.0%	3.3%	10.0%	














第2章

④視認性試験結果一覧 視認性 75%以上

機能	評価点(点)	評価点(点)						
		日本 (全体)	日本 (車椅子使用者)	日本 (聴覚障害者)	アメリカ	イギリス	シンガポール	中国
授乳室 	[G1]	76.8	73.8	68.8	91.7	90.0	90.0	85.8
	[G2]	74.6	67.5	68.8	90.0	93.3	93.3	77.5
海外発行カード対応ATM 	[G1]	81.0	76.3	78.8	90.8	93.3	89.2	85.0
	[G2]	67.1	70.0	56.3	87.5	87.5	83.3	77.5
海外発行カード対応ATM (東京都) 	[G1]	81.0	76.3	78.8	90.8	93.3	89.2	85.0
	[G2]	67.1	70.0	56.3	87.5	87.5	83.3	77.5
無線LAN 	[G1]	89.0	83.8	83.8	97.5	95.8	96.7	95.0
	[G2]	88.1	78.8	78.8	95.8	97.5	95.0	95.8
祈祷室 	[G1]	75.1	70.0	61.3	82.5	82.5	81.7	81.7
	[G2]	73.1	62.5	68.8	84.2	87.5	85.8	82.5
エレベーター 	[G1]	77.0	73.8	70.0	88.3	87.5	90.8	82.5
	[G2]	74.9	71.3	63.8	83.3	85.0	92.5	74.2
地下鉄 	[G1]	77.9	68.8	70.0	91.7	86.7	90.8	86.7
	[G2]	76.8	70.0	71.3	85.0	92.5	86.7	84.2
駅事務室/駅長室/… 	[G1]	72.8	75.0	65.0	90.0	82.5	81.7	81.7
	[G2]	69.0	65.0	65.0	88.3	85.0	78.3	76.7
一般車/自家用車 	[G1]	83.9	76.3	78.8	95.8	97.5	89.2	93.3
	[G2]	83.4	75.0	76.3	95.8	91.7	90.0	88.3
船舶/フェリー/港 	[G1]	74.5	66.3	67.5	90.8	91.7	87.5	85.0
	[G2]	70.9	65.0	72.5	90.8	92.5	87.5	81.7
オストメイト 	[G1]	62.8	67.5	51.3	83.3	73.3	75.8	70.8
	[G2]	58.3	62.5	47.5	77.5	77.5	70.8	70.8
コミュニケーション 筆談対応 	[G1]	67.6	71.3	56.3	77.5	78.3	75.0	72.5
	[G2]	63.0	62.5	61.3	78.3	77.5	68.3	74.2

第2章

2.6 提案図記号一覧（合計 10 項目）

	現行 JIS	提案図記号（理解度、視認性は全平均）
1-4. 乳幼児用設備	 H12 理解度 80.8 H12 視認性 68.1 H23 理解度 91.3	現行のまま
1-36. 無線 LAN	 2010 (H22) ISO 提案 H12 理解度 80 H12 視認性 79	 H27 理解度 74.4 H27 視認性 91.4
1-60. ミーティングポイント	 H12 理解度 31.2 H12 視認性 69.0 H23 理解度 17.0	現行のまま
1-80. エレベーター	 H12 理解度 92.3 H12 視認性 75.8 H23 理解度 95.0	 H27 理解度 84.8 H27 視認性 79.5 ※要、人型の検証
2-2. 地下鉄	なし	 H27 理解度 39.5 H27 視認性 81.3 ※要、理解度の検証
2-17. 駅事務室／駅長室／乗務員室／ 駅員・係員	なし	 H27 理解度 48.0 H27 視認性 75.4 ※要、理解度の検証
2-18. 一般車／自家用車	なし	 H27 理解度 63.9 H27 視認性 87.0 ※要、理解度の検証
2-51. 船舶／フェリー／港	 H12 理解度 95.6 H12 視認性 76.3 H23 理解度 92.0	 H27 理解度 93.8 H27 視認性 78.6
9-1. オストメイト	なし	 H27 理解度 3.1 H27 視認性 65.9
9-2. コミュニケーション：筆談対応	なし	 H27 理解度 20.5 H27 視認性 69.0 ※要、理解度の検証

第3章

第3章 今後の調査研究計画

3.1 平成27年度のフォローアップ

平成27年度分で表示要素（人型）の検証が必要な「エレベーター」及び理解度不足の検証が必要な「地下鉄」「駅事務室／駅長室／乗務員室／駅員・係員」「一般車・自家用車」「コミュニケーション：筆談対応」計5項目についてフォローアップのための調査を行う。

3.2 平成28年度の作業内訳

平成27年度分から継続して検討する必要がある5項目と、平成28年度分として整理した項目26項目の合計31項目とする。

3.2.1 平成27年度分から、継続して検討する必要がある項目：計5項目

<審議不十分>

② 交通施設	
2-37.	バス停

⑥ 禁止	
6-1.	携帯電話使用禁止

<方針の再定義>

① 公共・一般施設	
1-5.	授乳室
1-30.	海外発行カード対応 ATM
1-47.	祈祷室

3.2.2 平成28年度分として整理した項目：計26項目

① 公共・一般施設	
1-1.	案内所
1-2.	情報コーナー
1-3.	観光案内所
1-25.	充電コーナー
1-26.	自動販売機

⑥ 禁止	
6-8.	ホームドア／ホーム柵禁止行為（たてかけない）
6-8.	ホームドア／ホーム柵禁止行為（乗り出さない）
6-14.	危険物

② 交通施設	
2-31.	レンタサイクル

⑧ 指示	
8-1	シートベルト

③ 商業施設	
3-9.	コンビニエンスストア

⑨ アクセシブル	
9-9.	補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）同伴
9-14.	Accessible Taxi
9-23.	障害者用のヘルプカウンター

④ 観光・文化・スポーツ施設	
4-14.	ボランティアガイド
4-16.	イヤホンガイド

⑤ 安全	
5-1.	AED
5-9.	非常停止ボタン

⑩ お手洗関連	
10-1.	和式
10-2.	洋式
10-8.	ベビーチェア
10-9.	おむつ交換台
10-10.	キッズトイレ／子供用／男子用小便器
10-12.	多機能トイレ／ファミリートイレ
10-13.	多目的シート／介護用ベッド
10-14.	フィッティングボード／着替え台